

clarion

取扱説明書

DXZ575USB

**USBスロット搭載
CD/MP3/WMA/AAC レシーバー**

このたびはクラリオン商品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。

安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの『取扱説明書』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところ（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

保証書（別添）は、お買い求めの販売店で記入しますので、内容をご確認のうえ、後々のためこの取扱説明書とともに大切に保存してください。

目次

はじめに

主な特長	5
ご使用の前に	6
安全に正しくお使いいただくために	6
安全上のご注意	7
ご確認事項	9
取扱上のご注意	10
本体のお手入れについて	10
ディスプレイについて	10
表示画面について	10
エラー表示について	10
フリップダウンパネルについて	10
DCP部の取扱いについて	10
CDの演奏について	10
CDについて	11

本機の使用

■各部の名称とはたらき

本機の使用ボタン	12
システムチェック時のディスプレイ表示	14
電源ON/OFF時のディスプレイ表示	14
各種設定/調整時のディスプレイ表示	15
ディスプレイ表示	17
別販リモコン(RCB176)の使いかた	20

■基本の使用

DCPの取り外し/取り付けかた	22
電源を入れる	23
ソースを選ぶ	23
音量を調節する	23
音を消す(ミュート)	23
時刻を合わせる	24
表示を切り換える	25
スクリーンセーバーを設定する(SCRN SVR)	25
重低音をON/OFFする(マグナベースEX機能)	25
サウンドを設定する	26
サブウーファー音量を調整する(S-W VOL)	26
音質を簡単に設定する(デジタルZエンハンサー機能)	26
低音を調整する(BASS)	27
高音を調整する(TREBLE)	27
サウンド補正を設定する(S RESTOR)	28
左右のスピーカー音量を調整する(BALANCE)	28
前後のスピーカー音量を調整する(FADER)	28
サブウーファーのハイパスフィルターを設定する(HPF)	28
サブウーファーのローパスフィルターを設定する (S-W LPF)	28

■ラジオを聴く

ラジオを選ぶ	29
受信バンドを切り換える	29
自動選局する(シーク選局)	29
手動選局する(マニュアル選局)	29
プリセット選局する	29
プリセットメモリーする	30
自動メモリーする(オートストア機能)	30
放送を確かめる(プリセットスキャン)	31
特定の放送局をすぐに選局する(ISR機能)	31

■CD/MP3/WMA/AACを聴く

MP3/WMA/AACについて	32
演奏するファイルの種類を設定する(マルチセッション機能)	33
ディスクを入れる/取り出す	34
すでに入っているディスクを聴く	35
曲を選ぶ	35
演奏を止める(一時停止する)	35
早送り/早戻しする	35
最初の曲から聴く(トップ機能)	36
フォルダを切り換える	36
トラックリストを表示して選曲する	36
いろいろな演奏(スキャン/リピート/ランダム演奏)	37

■USBメモリーのオーディオファイルを聴く

※「曲を選ぶ/早送り/早戻し/一時停止/スキャン演奏/リピート演奏/ランダム演奏/フォルダー選択モード」は、CDと同様の操作です。「CD/MP3/WMA/AACを聴く」(35～38ページ)をご覧ください。

USBメモリーについて	39
USBメモリーを接続する	39
接続されたUSBメモリーを聴く	40
演奏を終了するには	40

■タイトルをつける

タイトルを入力する	41
タイトルを削除する	42

■設定を変更する(アジャストモード)

設定を変更する	43
ディスプレイのコントラストを調整する(CONTRAST)	43
メッセージを入力する(MESSAGE INPUT)	43
タイトルスクロール方法を設定する(AUTO SCR)	44
タイトルスクロールの速さを設定する(SCRL SPD)	44
ディスプレイ照明を設定する(DIMMER)	44
盗難防止インジケータを設定する(BLINKLED)	44
内蔵アンプを設定する(A CANCEL)	45
携帯電話の出力スピーカーを設定する(TEL SP)	45
携帯電話音声の割り込みを設定する(TEL SW)	45
システムをチェックする(SYSTEM CHECK)	45

外部機器の操作

■iPod BBを操作する

※「曲を選ぶ/早送り/早戻し/一時停止」は、CDと同様の操作です。「CD/MP3/WMA/AACを聴く」(32ページ)をご覧ください。

iPodを接続する	46
iPod BBを選ぶ	46
いろいろな演奏(プレイモード時)	47
iPodメニューからカテゴリーを選ぶ	48
タイトル表示について	48

■携帯用オーディオ/携帯電話音声を聴く(AUX)

AUX入力 of 接続のしかた	49
AUXを選ぶ	49
外部入力 of レベルを設定する(AUX SENS)	49

■CDチェンジャーを操作する

※「曲を選ぶ/早送り/早戻し/一時停止/スキャン演奏/リピート演奏/ランダム演奏」は、CDと同様の操作です。「CD/MP3/WMA/AACを聴く」(32～38ページ)をご覧ください。

チェンジャーを選ぶ	50
聴きたいディスクを選ぶ	50
いろいろな演奏(ディスクスキャン/ ディスクリピート/ディスクランダム演奏)	51

■テレビを見る

※「自動選局/手動選局/プリセット選局/プリセットメモリー/自動メモリー」は、ラジオモードと同様の操作です。「ラジオを聴く」(29～31ページ)をご覧ください。

TVを選ぶ	52
受信バンドを切り換える	52
ビデオを見る	52
TVチューナー接続時の設定を変更する	53

■MDデッキでグループ編集MDを聴く

※「曲を選ぶ/早送り/早戻し/一時停止/スキャン演奏/リピート演奏/ランダム演奏」は、CDと同様の操作です。「CD/MP3/WMA/AACを聴く」(32～38ページ)をご覧ください。

グループ機能をON/OFFする	54
グループ編集MDを演奏する	54
グループを切り換える	55
いろいろな演奏(グループスキャン/ グループリピート/グループランダム演奏)	55

その他

システムアップについて	56
CeNETケーブルについて	56
故障と思われる前に	57
エラー表示について	59
仕様	60
アフターサービスについて	62

主な特長



■USBスロット搭載

- 最大12Mbpsの転送レートで、USB 1.1/2.0互換
 - 市販のUSBメモリーに記録したMP3/WMA/AACフォーマットのファイルが再生可能
- ※使用するUSBメモリーは、「USBマストレージクラス」準拠品であることをご確認のうえお買い求めください。

■MP3/WMA/AAC再生機能

- MP3/WMA/AACフォーマットで記録したCD-ROM、CD-R/RWあるいはUSBが再生できます。
- ISO9660レベル1,2、Joliet、Romeo、Apple ISOに対応

■フロントパネル

- 機能的操作性を備えた操作パネル機構
- 大型ディスプレイを可能としたフリップダウンパネル機構
- 高級感あるフロントパネルを採用
- 盗難防止として取り外し可能なDCP
- 大型高輝度LCDディスプレイ採用

■53W×4chハイパワーアンプ内蔵

- 最大出力53W×4chハイパワーアンプを内蔵

■デジタルZ-エンハンサー機能

- 3パターンの音質効果をメモリーし、お好みの音質を即座に設定できます。

■マグナベースEX機能

- 音量レベルに連動して、重低音域をコントロールする音質調整機能

■ラジオチューナー部

- 聴きたい放送局を、ワンタッチで選局できるISR機能
- 30局の放送局名インプット機能
- メモリーした放送局を順に受信するプリセットスキャン機能

■CDプレーヤー部

- CDテキスト、ID3タグ、WMAタグ表示が可能
- CDテキスト/CD-R/CD-RW再生対応
- 50曲のCDタイトルインプット機能
- リピート/スキャン/ランダム機能

■タイトル表示・入力機能

- ラジオ、TVの放送局やCDにタイトルをつけ、受信時やCD演奏時に表示させるタイトル入力機能
- MDのディスク名または曲名を表示させるタイトル機能

■外部入力機能(AUX入力)

- ポータブルMD等やブルーーツース対応携帯電話のためのAUXブルーーツースBB(BLT370、別販)が接続できるAUX入力端子(RCA)を装備

■リモートコントローラー対応

- 別販のリモコンで主なオーディオ操作が可能

■eNET (Clarion Entertainment Network : シーイーネット) 結線対応

- iPod® BBコントロール機能
※iPodは米国および他の国々において登録されたApple Computer, Inc.の商標です。
- CDチェンジャーを合計2台まで接続および操作できるチェンジャーコントロール機能
- TVチューナーコントロール機能
- MDデッキコントロール機能

ご使用の前に

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この説明書の表示では、製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った使用をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った使用をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中には具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



❶記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

安全上のご注意

- 安全のため、ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとはいつでも見られる所(グローブボックスなど)に必ず保管してください。

■ 使用上のご注意

⚠ 警告

- 運転者は走行中に操作をしない…** 
前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 本機を分解したり、改造しない…** 
事故や火災、感電の原因となります。
- ディスプレイ部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない…** 
事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
- ディスク挿入口や機器内部に水や異物をいれない…** 
火災や感電の原因となります。

⚠ 警告

- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起こったときは、ただちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談する…** 
そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する…** 
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。本機のヒューズ容量については、本機に同梱されている「取付説明書」をご覧ください。

⚠ 注意

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する…



車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

- ディスク挿入口に手や指を入れない…



けがの原因となることがあります。

- フリップダウンパネル開閉時に、機構部に手や指を近づけない…



挟まれて、けがの原因となることがあります。

- 本機を車載用以外には使用しない…



感電やけがの原因となることがあります。

- 電源を切るときは、音量を最小にする…



電源を入れたときに突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

⚠ 注意

- 音声割れる、歪むなどの異常状態で使用しない…



火災の原因となることがあります。

- 本機の取付および取付の変更は、安全のため必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に依頼する…



専門技術と経験が必要です。

ご確認事項

-  または  マークのついたCDをご使用ください。

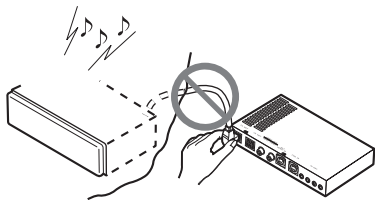
また、ハート形や八角形など、特殊形状のCDは使用しないでください。

- CD-R/RWで記録されたディスクでも使用できない場合があります。
- CD-ROMは、本機では使用できません。

- 車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機を使用すると、CDや光学部品が曇って正常な動作を行わないことがあります。

CDが曇っているときは、やわらかい布でふいてください。また光学部品が曇っているときは、1時間ほど放置しておく、自然に曇りがとれ、正常な動作に戻ります。

- 本体および本体に接続されている外部機器を取り付けまたは取り外すときは電源をOFFにして行ってください。システム作動中に行うと、故障の原因となります。



- CeNET接続ケーブルの最大配線長は、20m以下(CeNET分岐ケーブルCCA-519含む)です。配線長が20mを越えると動作不良の原因となります。

- 本機はUSB1.1/2.0互換で、MP3/WMA/AACフォーマットのファイルが再生できます。

- 本機のUSBスロットに接続をして再生できるUSBメモリーは、「USBマストレージクラス」として認識されることが条件となりますが、すべてのUSBメモリーの動作を保証するものではありません。

- 二つ以上のドライブで構成されているUSBメモリーは、どちらか一方のドライブのみを認識します。

- セキュリティー機能の付いたUSBメモリーは再生できません。

- 使用するUSBメモリーが「USBマストレージクラス」に準拠しているかは、販売メーカーにお問い合わせください。また、USBメモリーに関する取扱上のご注意等については、「USBメモリーのオーディオファイルを聴く」(39ページ)をご覧ください。

- 本機は次の条件で作成されたAACファイルを再生します。

…iTunesでエンコードされたAACファイル
…iTunesのバージョンはVer 7.0以前
…ファイル拡張子は、".m4a"(".M4A")

- iTunes Music storeで購入した楽曲や著作権保護されたファイルは再生できません。

- AACファイルをエンコードしたiTuneのバージョンによっては、正しく再生されないことがあります。

取扱上のご注意

本体のお手入れについて

- 本機をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布につけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。



- 樹脂加工部に、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。部品変形により故障することがあります。
- 自動車用クリーナーなどは使用しないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。

ディスプレイについて

- 本機のディスプレイ部(アクリル部品)の一部に、細いスジが見える場合があります。これは製造過程でやむを得ず生じるもので、「傷」や「ひび割れ」などではありません。また、本機の性能および安全性を損なうものではありません。

表示画面について

- 非常に寒いときに、画面の動きが遅くなったり、画面が暗くなったりすることがあります。故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 液晶画面の表示色が、本体の熱や車内の温度によって変色することがありますが、液晶特有の現象で、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

エラー表示について

- 本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。ディスプレイにエラーが表示されたときには、「エラー表示について」(59ページ)の項目を参照して障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作になります。

フリップダウンパネルについて

- 本機は、必ずフリップダウンパネルを閉じた状態で使用してください。
- フリップダウンパネルの開閉時に無理な操作や異常な使用をしないでください。
- フリップダウンパネルを開いた状態で、トレーの代わりにして物を置かないでください。
- フリップダウンパネルを閉じるときに、[OPEN]ボタンを押さないで下さい。
- 操作ボタンや表示部に強い衝撃を加えると、破損や変形などの故障の原因になります。

ご注意

フリップダウンパネルの開閉時には、指などを挟まないように注意してください。ケガの原因となることがあります。

DCP部の取扱いについて

- DCP部は精密部品ですので、DCPを落としたりして、衝撃を与えないでください。また、絶対に水をつけないでください。
- DCP部が汚れたときには、乾いたやわらかい布でふき取ってください。

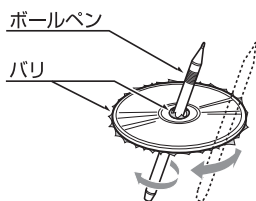
CDの演奏について

- 本機は精密な機構を使用しているため、万一異常が発生したときでも、絶対にケースを開けて分解したり、回転部分に注油したりすることはやめてください。
- CDを演奏中、振動の激しい悪路を走行すると、音飛びを起こすことがあります。

CDについて

■取扱上のご注意

- CD-R/CD-RWは、通常の音楽CDに比べ高温多湿の環境に弱く、一部のディスクでは再生できない場合があります。車室内に長時間、放置しないようにしてください。
- コピーコントロール等の機能のついた規格外のCDは、クラリオン商品のCD再生機器においては再生保証をしていません。再生動作に支障がある場合には、発売元メーカーにお問い合わせください。
- 記録面に、傷、指紋、ほこり、汚れ等をつけないように扱ってください。
- 印刷面や記録面にシール、シート、テープなどを貼らないでください。
- セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるCDは使用しないでください。そのままCDプレイヤーに入れると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。
- 新しいディスクには、ディスクの周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなディスクをご使用になると、動作しなかったり音飛びの原因となります。ディスクにバリがあるときは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。



■保管時のご注意

次のような場所には保管しないでください。

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やホコリの多い場所
- 暖房の熱が直接当たる場所

■お手入れ

- 汚れたときには、やわらかい布で、内側から外側へ向かって、よく拭いてください。
- 従来のレコードクリーナー液やアルコールなどで拭かないでください。

各部の名称とはたらき

本機の操作ボタン

電源を入れます



[SRC]ボタン

- 電源を入れ、各ソースに切り換えます。電源を切るときは押し続けます。(約1秒間)



[OPEN]ボタン

- フリップダウンパネルを開きます。



[+], [-]ボタン

- 音量を調整します。



■ADJ

[OPTION]ボタン

- ソースに対応した操作メニューを表示します。約1秒間押し続けると各種設定や調整モードになります。(アジャストモード)

MUTE



[M] (MUTE) ボタン

- ミュート(消音)機能をON/OFFします。

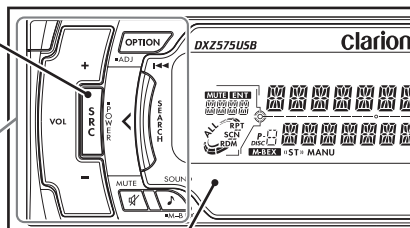
SOUND



■M-B EX

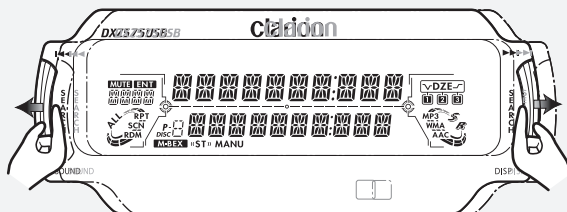
[S] (SOUND) ボタン

- オーディオの各種調整をします。
- 約1秒間押し続けると重低音をON/OFFします。(マグナベースEX機能)



■「SEEK PANEL」について

この[SEEK PANEL]は、パネル両端の操作部を左または右へスライドさせて、ラジオ時の選局、CD等の選曲、あるいはアジャストモード時の各種設定等を行ないます。



ディスプレイ部
選局/演奏状態の各情報を
表示します。

リモコン受光部

■USBデバイスの入れかた



※USBコネクタの接続面
を確認のうえ挿入して
ください



[MENU]ボタン

- ラジオ/TV時は、バンドを切り換えます。また、約1秒間押し続けて自動選局/手動選局を切り換えます。
- CD/MP3/WMA/AAC/USB時は、リストサーチモードになります。
- ディスク、USB時に約1秒間押し続けると、最初の曲を演奏します。(トップ機能)



[UP], [DN]ボタン

- ラジオ/TV時は、プリセット選局します。
- MP3/WMA/AAC/USB時は、フォルダを切り換えます。
- アジャストモード時の各種設定に使用します。
- MDデッキのグループ編集MD時にグループを切り換えます。



[ENT]ボタン

- ディスク、USB、iPodあるいはCDチェンジャー時は、演奏の一時停止をします。
- 各種設定の決定をします。



[ISR]ボタン

- 再生中のソースにかかわらず、よくお聴きになるラジオ局をすぐに呼出します。(ISR機能)



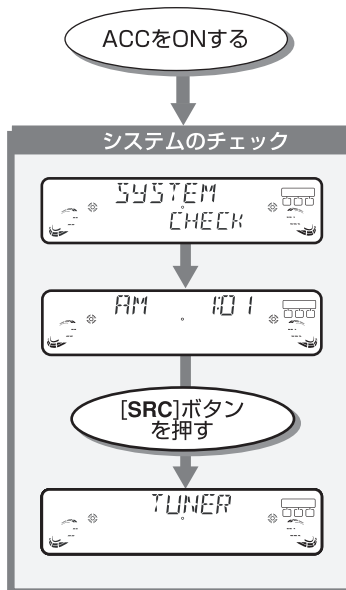
[D]ボタン

- ディスプレイ表示を切り換えます。

■商品イラストについて

本書における商品イラストは、操作説明に直接関係のない表示文字を一部省略しています。

システムチェック時のディスプレイ表示



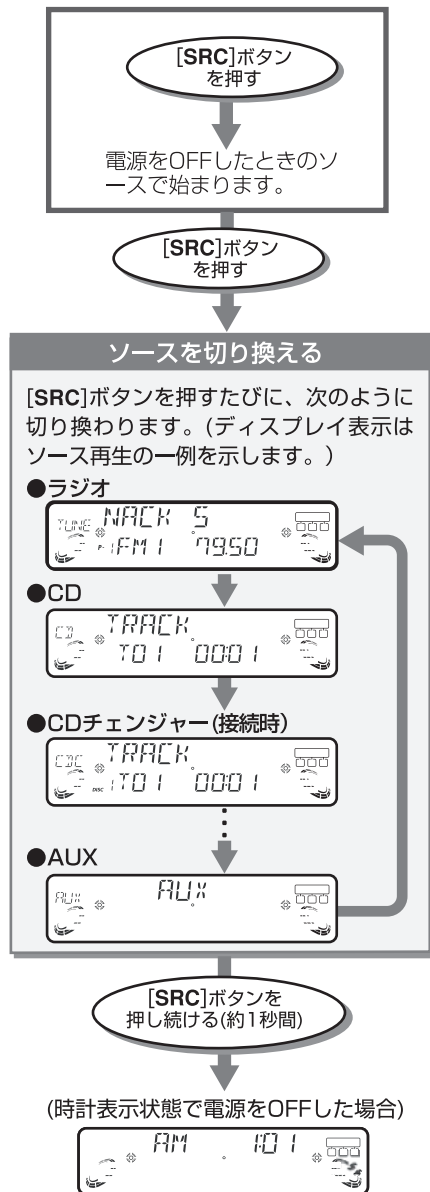
■システムチェックについて

本機に採用されているCeNET方式はシステムチェック機能を採用しています。

ディスプレイのシステムチェック表示は次のようなときに表示されますので、[SRC]ボタンを押して通常モードに戻してください。

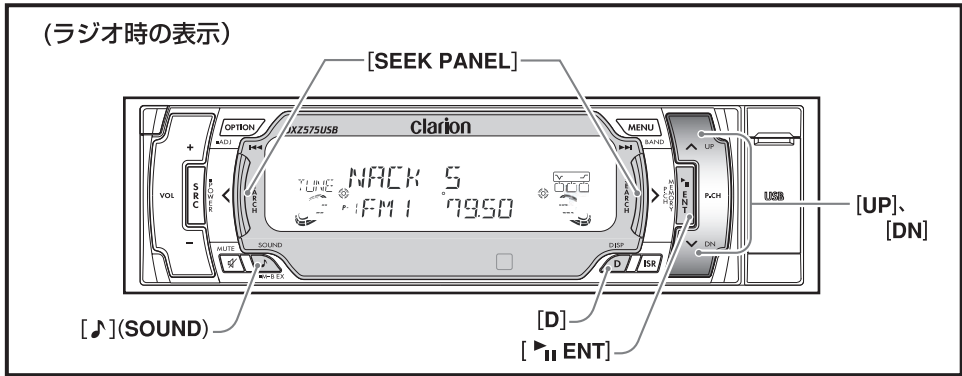
- 本機の取り付け直後に電源を入れたとき
- 外部機器を接続または取り外したとき
- バッテリー交換等で電源が切れたとき
- リセットボタンを押したとき

電源ON/OFF時のディスプレイ表示



各種設定/調整時のディスプレイ表示

はじめに

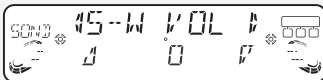


サウンドを設定する

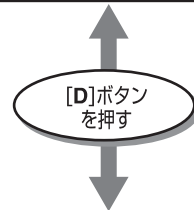
次のボタン操作で設定します。

- 1.[SEEK PANEL]：調整項目を選ぶ
- 2.[▶|| ENT]
- 3.[UP]、[DN]：調整内容を設定
(26～28ページ)

●サブウーファー音量を調整(S-W VOL)

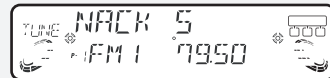


- 音質を簡単に設定(DZE)
- 低音の調整(BASS)
- 高音の調整(TREBLE)
- サウンド補正の設定(S RESTOR)
- 左右のスピーカー音量の調整(BALANCE)
- 前後のスピーカー音量の調整(FADER)
- サブウーファーの
ハイパスフィルター設定(HPF)
- サブウーファーの
ローパスフィルター設定(S-W LPF)

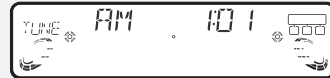


表示を切り換える

●タイトル表示(ユーザータイトル)



●時計表示

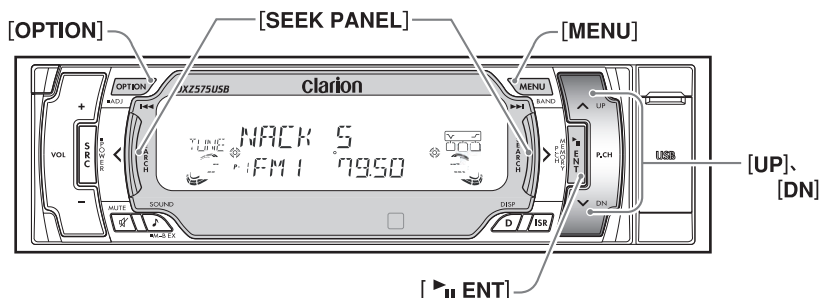


●スクリーンセーバー

(25ページ)

各種設定/調整時のディスプレイ表示(つづき)

(ラジオ時の表示)



(ラジオ/CD/TV/
CDチェンジャー時)

[OPTION]
ボタンを押す

[OPTION]ボタンを
押し続ける(約1秒間)

タイトルを入力する

次のボタン操作で文字を入力します。

- 1.[SEEK PANEL] : 「TITLE INPUT」を選ぶ
- 2.[▶||ENT]
- 3.[SEEK PANEL] : 入力位置を決める
- 4.[MENU] : 文字の種類を選ぶ
- 5.[UP]、[DN] : 入力文字を選ぶ
- 6.[▶||ENT] : 約2秒間押し続けてタイトルをメモリー



入力位置点滅

(41ページ)

設定を変更する(アジャストモード)

次のボタン操作で設定を変更します。

- 1.[SEEK PANEL] : 調整項目を選ぶ
 - 2.[UP]、[DN] : 調整内容を設定する
- ※「ENT」が点滅のときは、[▶||ENT]ボタンを押して設定内容を表示させます。
(43～45ページ)

●時計の設定(CLOCK) (24ページ)



●ディスプレイのコントラスト調整 (CONTRAST)

●スクリーンセーバーの設定 (SCRN SVR) (25ページ)

●メッセージの入力(MESSAGE INPUT)

●タイトルスクロール方法の設定 (AUTO SCR)

●タイトルスクロールの速さ設定 (SCRL SPD)

●ディスプレイ照明の設定(DIMMER)

●盗難防止インジケータの設定(BLINKLED)

●内蔵アンプの設定(A CANCEL)

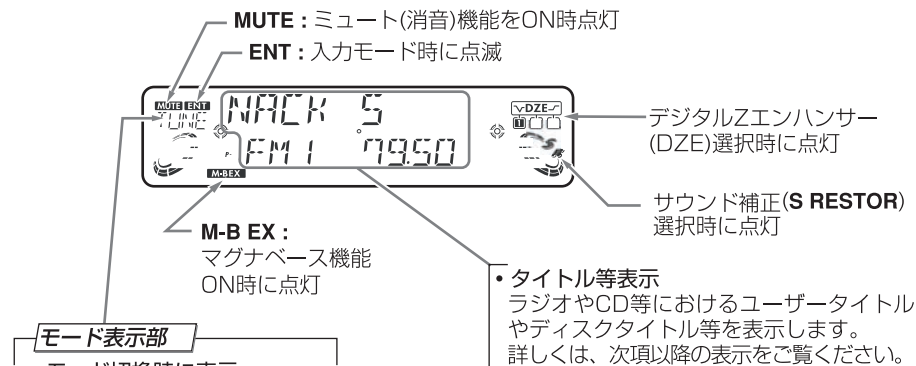
●携帯電話の出力スピーカー設定(TEL SP)

●携帯電話音声の割り込み設定(TEL SW)

●システムのチェック(SYSTEM CHECK)

ディスプレイ表示

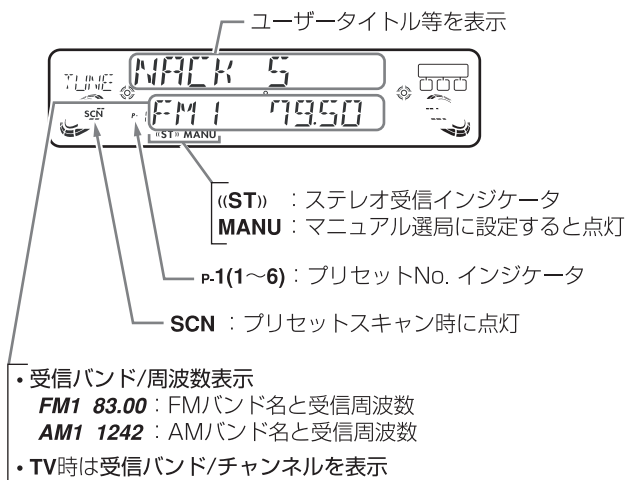
■共通の表示



- TUNE** : ラジオ
- MD** : MDデッキ
- CD** : CD/MP3/WMA/AAC
- USB** : USB
- IPOD** : iPod
- CDC** : CDチェンジャー
- TV** : TV
- AUX** : AUX
- OPTI** : オプションモード
- ADJ** : アジャストモード

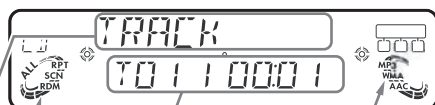
※スクリーンセーバー
ディスプレイは一定時間操作をしないと、スクリーンセーバー機能で設定されたパターンを表示します。
詳しくは、「スクリーンセーバーを設定する」(25ページ)をご覧ください。

■ラジオ時の表示/TV接続時の表示



ディスプレイ表示(つづき)

■CD/MP3/WMA/AAC、USB時の表示



MP3 : MP3演奏時点灯
WMA : WMA演奏時点灯
AAC : AAC演奏時点灯

演奏トラックNo./演奏時間表示(分、秒)

ALL : フォルダスキャン/フォルダリピート/
 フォルダランダム演奏のときに点灯
SCN : スキャン演奏のときに点灯
RPT : リピート演奏のときに点灯
RDM : ランダム演奏のときに点灯

・タイトル表示選択時に表示

NO TITLE : CDにおけるユーザータイトル未設定のとき
 CDテキスト再生時に、表示モード切り換えるたびに、トラックタイトル、ディスクタイトル(アーティスト)、ユーザータイトルの表示も可能です。
MARIAH : MP3/WMA/AACにおけるフォルダ名トラック名表示
 MP3/WMA/AAC再生時に、表示モード切り換えるたびに、トラックタイトル、フォルダータイトル、タイトルTAG(アルバムTAG)、アーティストの表示も可能です。

・選曲切替時に表示

(CD再生時)

TRACK SCN : スキャン演奏選択時
TRACK RPT : リピート演奏選択時
TRACK RDM : ランダム演奏選択時

(MP3/WMA/AAC再生時)

TRACK SCN : スキャン演奏選択時
TRACK RPT : リピート演奏選択時
TRACK RDM : ランダム演奏選択時
ALL SCN : フォルダスキャン演奏選択時
ALL RPT : フォルダリピート演奏選択時
ALL RDM : フォルダランダム演奏選択時

・マルチセッション機能切替時に表示

M-SESS CD : CD演奏選択時
M-SESS MP3 : MP3/WMA/AAC演奏選択時

・その他の表示

NO DISC : ディスクがないとき
ERROR 2 : エラー発生時
FILE READ : ファイルシステム読み込み中

■ iPod BB、MDデッキ、CDチェンジャー接続時の表示



演奏トラックNo./演奏時間表示(分、秒)

DISC 3 : チェンジャー演奏時のディスクNo.

- ALL** : グループ編集MDのグループスキャン等演奏のときに点灯
: ディスクスキャン/ディスクリピート/ディスクランダム演奏のときに点灯
- SCN** : スキャン演奏のときに点灯
- RPT** : リピート演奏のときに点灯
- RDM** : ランダム演奏のときに点灯

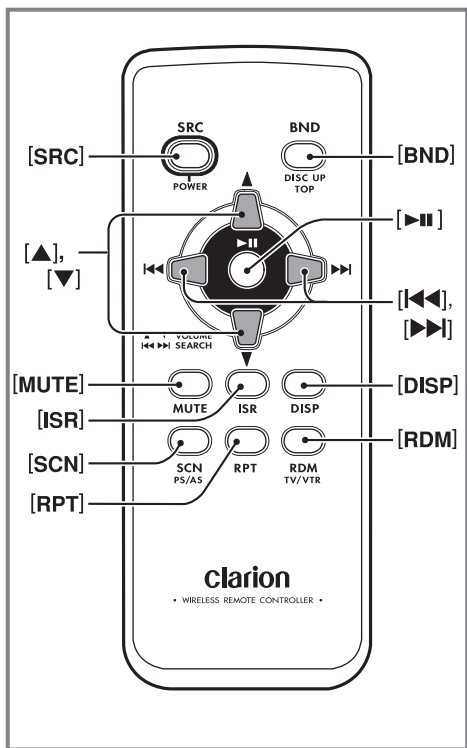
・タイトル表示選択時に表示

- M.YA** (入力例) : ユーザータイトル等を表示
- NO TITLE** : CDにおけるユーザータイトルやCDテキスト等におけるタイトルが設定されていないときの表示
- TRACK SCN** : スキャン演奏選択時
- ALL SCN** : ディスクスキャン演奏選択時
- TRACK RPT** : リピート演奏選択時
- ALL RPT** : ディスクリピート演奏選択時
- TRACK RDM** : ランダム演奏選択時
- ALL RDM** : ディスクランダム演奏選択時
- (グループ編集MDのとき)
- ALL SCN** : グループスキャン演奏選択時
- ALL RPT** : グループリピート演奏選択時
- ALL RDM** : グループランダム演奏選択時

・その他の表示

- NO DISC** : ディスクがないとき
- ERROR 2** : エラー発生時
- PAUSE** : 演奏一時停止時
- NO MAG** : CDチェンジャーのマガジンがないとき
- ERROR 6** : エラー発生時
- NO IPOD** : iPodが接続されていないとき

別販リモコン(RCB176)の使いかた



電源を入切/ソースを選ぶ

[SRC] ボタン

- 電源が入ります。また、押すたびにソースが切り換わります。
- 押し続ける(約1秒間)と、電源が切れます。

音量を調節する

[▲], [▼] ボタン

音を消す

[MUTE] ボタン

- ミュート(消音)機能をON/OFFします。

ISRメモリーを呼出す

[ISR] ボタン

- 再生中のソースにかかわらず、登録されているラジオ局を呼び出します。
- ISRにメモリーするには、聴きたい放送局を受信し**[ISR]**ボタンを約2秒間押し続けます。
- 元のソースに戻すには、もう一度**[ISR]**ボタンを押します。

放送局をプリセットする/曲を探す

[SCN] ボタン

- ラジオ/TV時には、プリセットした放送局を確認められます。(プリセットスキャン)押し続ける(約2秒間)と放送局を自動的にメモリーします。(オートストア)
- スキャン演奏します。(CD/MP3/WMA/AAC/USB、チェンジャー時)
- 押し続ける(約1秒間)と、チェンジャー内の全ディスクの1曲目をディスクスキャン演奏します。(チェンジャー時)MP3/WMA/AAC/USB時は、フォルダスキャン演奏します。
- 解除するときには、もう一度**[SCN]**ボタンを押します。

繰り返し演奏する

[RPT] ボタン

- 繰り返し演奏します。(CD/MP3/WMA/AAC/USB/iPod BB/チェンジャー時)
- 押し続ける(約1秒間)と、ディスクの繰り返し演奏します。(チェンジャーモード時)MP3/WMA/AAC/USB/iPod BBでは、フォルダリピート演奏します。
- TV時にステレオ/モノラルに切り換えます。押し続ける(約1秒間)とMAIN/SUBに切り換えます。
- 解除するときには、もう一度**[RPT]**ボタンを押します。

バンドを切り換える/最初の曲から演奏する

[BND] ボタン

- ラジオ/TV時は受信バンドを切り換えます。
- 最初の曲から演奏します。(CD/MP3/WMA/AAC/USB時)MP3/WMA/AAC/USBでは、フォルダの1曲目に戻ります。

演奏を一時停止する**[▶||] ボタン**

- 演奏を一時停止をします。(CD/MP3/WMA/AAC/USB/iPod BB/チェンジャー時)

選局する/選曲する**[◀◀], [▶▶] ボタン**

- プリセットチャンネルをアップ/ダウンします。(ラジオ/TV時)
- 押した回数だけ先の曲、または前の曲を演奏します。押し続ける(約1秒間)と、早送り/早戻しします。(CD/MP3/WMA/AAC/USB/iPod BB/チェンジャー時)

表示を切り換える**[DISP] ボタン**

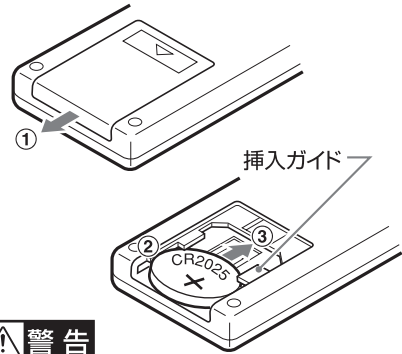
- 次のように表示を切り換えます。
メイン表示 ↔ タイトル表示 ↔ 時計表示

ランダム演奏する**[RDM] ボタン**

- ランダム演奏します。(CD/MP3/WMA/AAC/USB/iPod BB/チェンジャー時)
- 押し続ける(約1秒間)と、チェンジャー内の全ディスクをランダムに演奏します。(チェンジャー時)
MP3/WMA/AAC/USB/iPod BB時は、フォルダランダム演奏します。
- TV時にTVをVTRに切り換えます。
- 解除するとき、もう一度[RDM]ボタンを押します。

■電池の入れかた

- ① リモコンを裏返し、ふたを矢印の方向に引き出します。
- ② 電池(CR2025)の刻印面を上にして、挿入ガイド部にセットします。
- ③ セットした電池を押しながら矢印方向に挿入します。
- ④ 「カチッ」と音がするまで、蓋を押し込みます。

**⚠ 警告**

- リモコンを放置しないでください。
停車したときやカーブを曲がるときに、リモコンが足元に転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げとなり交通事故の原因となります。
- 事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

⚠ 注意

使用を誤ると、電池の破裂や液漏れにより、ケガや火災、周囲を汚染する原因となりますので、以下の注意事項をお守りください。

- 指定電池以外は使用しない。
- 電池を交換するときは、極性の向きを間違えないように正しく入れる。
- 電池を加熱したり、火や水の中に入れない。また、分解しない。
- 使用済みの電池は、定められた場所に廃棄する。
- リモコンは直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管する。

DCPの取り外し/取り付けかた

DCP(Detachable control panel)について…

このコントロールパネルは盗難防止用に取り外すことができます。

車から離れるときは、DCPをお持ちになることをおすすめします。

注意

DCPを取外した後は、安全のために必ずホールドフラップを閉めてください。

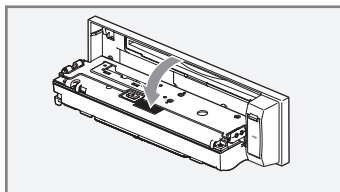
- DCPは衝撃に弱いです。取り外した後は、DCPケースに入れることをおすすめします。また、落としたり強い衝撃を与えると故障の原因となりますのでご注意ください。
- フリップダウンパネルが開いたままになっていると、車の振動でDCPが落ちる場合があります。DCPの故障の原因となりますので、フリップダウンパネルを閉じるか、DCPを取外して保管してください。
- ソースユニットとDCPを接続しているコネクターは大変重要な部分です。爪やドライバー等で押してキズをつけないように、注意してください。

ご注意

DCPが汚れている場合、乾いた柔らかい布で拭いてください。

1 [SRC] ボタンを押し続けて(約1秒間)、電源を切る

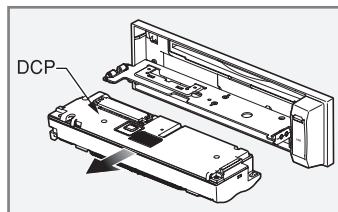
2 [OPEN] ボタンを深く押して、フリップダウンパネルを開く



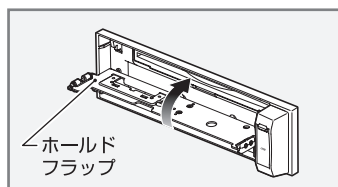
ご注意

- フリップダウンパネルが十分に開かないときは手でゆっくりと開いてください。

3 DCPを手前に取り外す



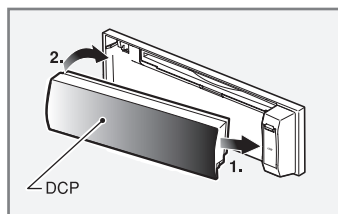
4 ホールドフラップを閉める

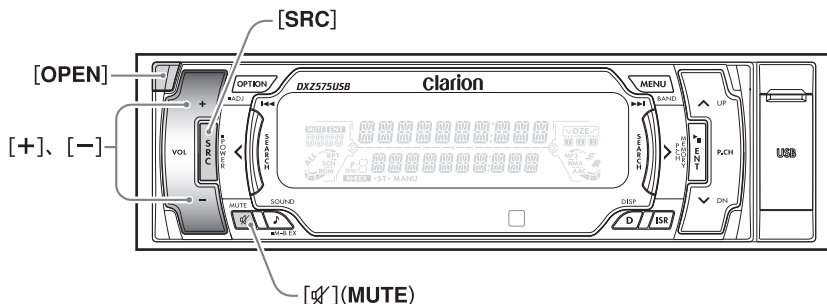


■ DCPを取り付けるには

1 DCPの右側を本機に差し込む

2 DCPの左側を本機に差し込む





電源を入れる

システムチェックについて…

本機は、結線を終えてから最初に電源を入れたときのみ接続機器の確認を行います。

電源を入れるとシステムチェックを開始し、ディスプレイに「**SYSTEM CHECK**」を表示します。チェックを完了すると、電源OFFの状態になりますので、[SRC]ボタンを押してください。

1 [SRC]ボタンを押す

→ラジオになります。

ご注意

- バッテリーあがり防止のため、本機の場合は、エンジンをかけた状態で行ってください。

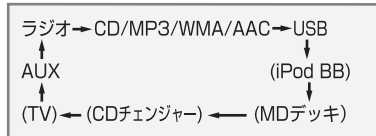
■ 電源を切るときは…

[SRC]ボタンを押し続けて(約1秒間)ください。

ソースを選ぶ

1 [SRC]ボタンを押す

→押すたびに、次のように切り換わります。()内はCeNET接続された外部機器です。



音量を調節する

1 [+]または[-]ボタンを押す

- [+]：大きくなります。
- [-]：小さくなります。

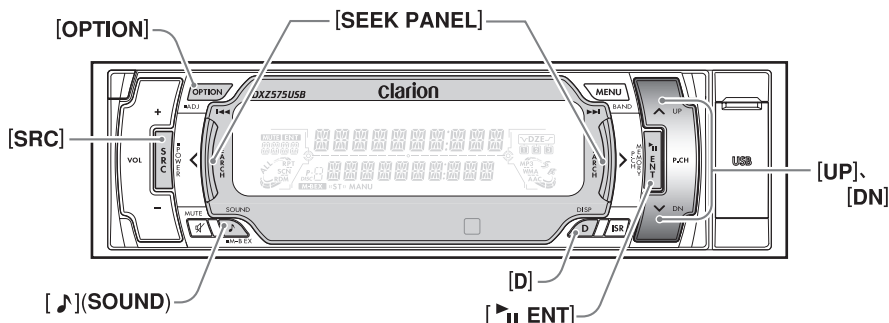
⚠ 注意

- 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量にしてください。

音を消す(ミュート)

1 [MUTE]ボタンを押す

- もう一度押すと、元の音量に戻ります。



時刻を合わせる

本機は、車のエンジン作動時(ACC ON 時)に時計を表示します。
時計は12時間表示です。

ご注意

- 電源OFF状態での時間表示のときは、時計を設定することはできません。
- 点検や修理などでバッテリーを外したときには、もう1度、時刻合わせをしてください。

1 [OPTION]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→タイトル表示部に前回調整した項目名を表示して、設定変更モード(アジャストモード)になります。

2 [SEEK PANEL]を左または右へスライドさせて、「CLOCK」を選ぶ

3 [PUSH ENT]ボタンを押す

→調整時点(「PM 2:20」等)の時刻を表示し、時刻設定モードになります。

- 時刻を合わせる途中で他のボタンを操作すると、時刻は調整されません。

4 [SEEK PANEL]を左または右へスライドさせて、時または分を選ぶ

→点滅している項目が調整できます。

5 [UP]、[DN]ボタンを押して、時刻を合わせる

6 [PUSH ENT]ボタンを押す

7 [OPTION]ボタンを押して、元のモードに戻る

表示を切り換える

常に時計を表示させておくには…

[D] ボタンを押して時計表示に切り換え、「スクリーンセーバーを設定する (SCRN SVR)」(次項)の手順で、スクリーンセーバー機能を「OFF」にしてください。

1 [D]ボタンを押す

→押すたびに、メイン表示→タイトル表示
→時計表示→と切りかわります。

■スクリーンセーバー機能について
スクリーンセーバー機能が「ON」に設定されているときに、タイトルまたは時刻を一定時間表示した後、設定されているスクリーンセーバーパターンを表示します。詳しくは「スクリーンセーバーを設定する」(次項)をご覧ください。

■電源OFF状態で時計を表示しておくには…

[D] ボタンを押して時計表示にし、
[SRC] ボタンを押し続けて(約1秒間)、
電源をOFFしてください。

スクリーンセーバーを設定する(SCRN SVR)

スクリーンセーバーは、選局/選曲操作時に選局情報等を一定時間表示した後、設定されているディスプレイパターンを表示する機能で、表示する(ON)/しない(OFF)等を設定することができます。
※初期設定は、「ON」です。

1 [OPTION]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→タイトル表示部に前回調整した項目「CLOCK」等を表示して、ディスプレイアジャストモードになります。

2 [SEEK PANEL]を左または右へスライドさせて、「SCRN SVR」を選ぶ

3 [UP]、[DN]ボタンを押して、設定内容を選ぶ

- ON : スクリーンセーバーパターンを表示します。
- OFF : 表示しません。

4 [OPTION]ボタンを押して、元のモードに戻る

重低音をON/OFFする(マグナベースEX機能)

小音量でお聴きになるときは…

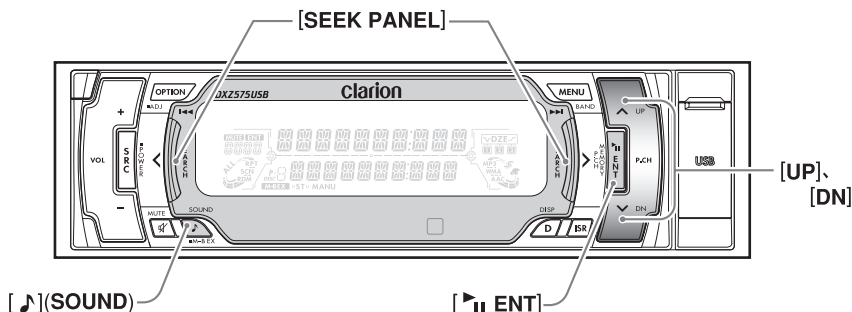
小音量でお聴きになるときは、重低音を強調するマグナベースEXの音質効果をおすすめします。

1 [♪](SOUND)ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ONになると、「M-B EX」が点灯します。

■マグナベースEXをOFFにするには…

もう一度、[♪](SOUND)ボタンを押し続け(約1秒間)てください。



サウンドを設定する

ご注意

この設定モードは、10秒間操作がないと、設定モードを解除して元に戻ります。

- 1 [♪](SOUND)ボタンを押して、サウンド設定モードにする



- 2 [SEEK PANEL]を左または右へスライドさせて、サウンド設定項目を選ぶ

→設定項目は次のようにかわります：

S-W VOL → DZE → BASS → TREBLE → S RESTOR → HPF → S-W LPF → BALANCE → FADER → ...

- 3 ディスプレーの「ENT」が点滅のときは、「ENT」ボタンを押して設定内容を表示させる

[UP]または[DN]ボタンを押して、設定内容を選ぶ

- 4 設定を終えたら、[♪](SOUND)ボタンを押して、元のモードに戻る

サブウーファー音量を調整する(S-W VOL)

※初期設定は「0」です

- 2 サウンドを設定する操作手順で「S-W VOL」を選ぶ
- 3 [UP]または[DN]ボタンを押して、調整する

・調整範囲は、+5～-5です。

音質を簡単に設定する(デジタルZエンハンサー機能)

※初期設定は「OFF」です。

- 2 サウンドを設定する操作手順で「DZE」を選ぶ：
- 3 [UP]または[DN]ボタンを押して、設定内容を選ぶ

OFF → DZE 1 → DZE 2 → DZE 3

ご使用のスピーカーシステムに合わせて設定してください。

- **OFF** : DZE機能オフ
- **DZE 1**: コアキシャルスピーカーに適しています。
- **DZE 2**: セパレートスピーカーに適しています。
- **DZE 3**: ロングドライブでも聴き疲れしないフラットな音質効果

次ページに続く➡

●DZEを調整するには…

「DZE 1」、「DZE 2」あるいは「DZE 3」に設定されると、調整モードになります。

4 ディスプレイの「ENT」点滅状態で
[▶|| ENT]ボタンを押す

5 [UP]または[DN]ボタンを押して、調整する

- 調整範囲は: +3 ~ -3 です。
- ※初期設定は「0」です。

6 [▶|| ENT]ボタンを押して、元のモードに戻る

ご注意

- 「BASS」、「TREBLE」を調整するときは、デジタルZエンハンサー機能(DZE)を「OFF」にしてください。

低音を調整する(BASS)

2 サウンドを設定する操作手順で「BASS」を選ぶ、

→ディスプレイの「ENT」が点滅します。

3 [▶|| ENT]ボタンを押す

4 [SEEK PANEL]を左または右へスライドさせて、調整項目(B GAIN、B FREQ、B Q)を選ぶ

5 [UP]または[DN]ボタンを押して、調整する

調整項目	調整範囲	初期値
B GAIN	+7 ~ -7	0
B FREQ	50, 80, 120	50Hz
B Q	1, 1.25, 1.5, 2	1

6 [▶|| ENT]ボタンを押して、元のモードに戻る

高音を調整する(TREBLE)

2 サウンドを設定する操作手順で「TREBLE」を選ぶ、

→ディスプレイの「ENT」が点滅します。

3 [▶|| ENT]ボタンを押す

4 [SEEK PANEL]を左または右へスライドさせて、調整項目(T GAIN、T FREQ)を選ぶ

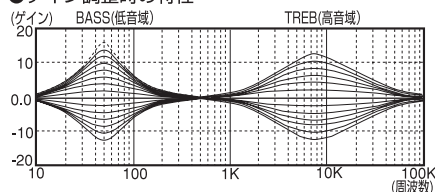
5 [UP]または[DN]ボタンを押して、調整する

調整項目	調整範囲	初期値
T GAIN	+6 ~ -6	0
T FREQ	12k, 8k	12kHz

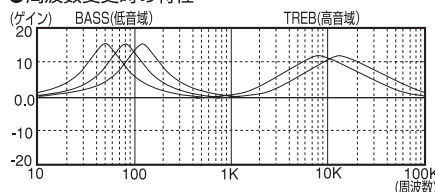
6 [▶|| ENT]ボタンを押して、元のモードに戻る

※次の特性図表を参考にバスおよびトレブルを調整し、好みの音質に調整してください。

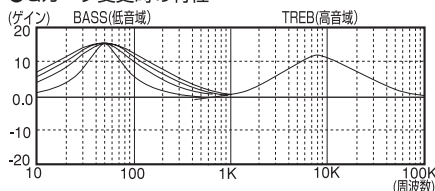
●ゲイン調整時の特性



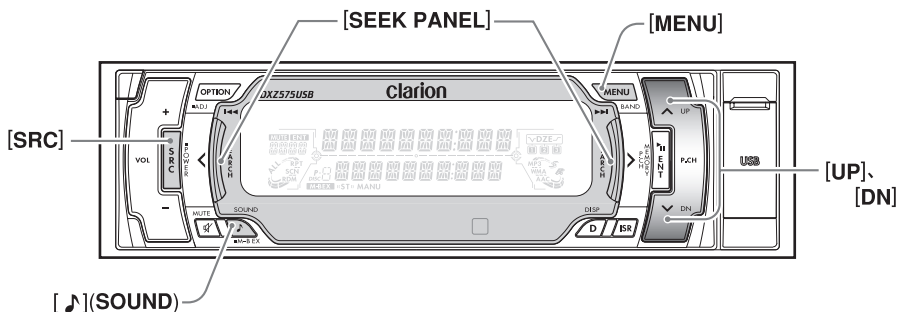
●周波数変更時の特性



●Qカーブ変更時の特性



※Qカーブ(Q)は数値を大きくすると鋭く、小さく設定すると緩やかなカーブになります。



サウンド補正を設定する (S RESTOR)

この機能は、音楽ソースの圧縮時等に欠落した情報を補完して、再生音を最適化します。

※初期設定は「OFF」です。

2 サウンドを設定する操作手順で「**S RESTOR**」を選ぶ

3 [UP]または[DN]ボタンを押して、設定内容を選ぶ

OFF → **1** → **2** → **3**

再生する音楽ソースにより設定を変更してください。

OFF: 高ビットレートの音楽ソース

1: 低ビットレートの良質な音楽ソース

2: 低ビットレートの通常の音楽ソース

3: 低ビットレートの劣悪な音楽ソース

左右のスピーカー音量を調整する (BALANCE)

※初期設定は「**CENTER**」です。

2 サウンドを設定する操作手順で「**BALANCE**」を選ぶ

3 [UP]または[DN]ボタンを押して、左右のスピーカー(バランス)の音量を調整する

・調整範囲は、R12～L12です。

前後のスピーカー音量を調整する (FADER)

※初期設定は「**CENTER**」です。

2 サウンドを設定する操作手順で「**FADER**」を選ぶ

3 [UP]または[DN]ボタンを押して、前後のスピーカー(バランス)の音量を調整する

・調整範囲は、F12～R12です。

サブウーファースのハイパスフィルターを設定する (HPF)

※初期設定は「**THROUGH**」です。

2 サウンドを設定する操作手順で「**HPF**」を選ぶ

3 [UP]または[DN]ボタンを押して、設定内容を選ぶ

THROUGH → **50Hz** → **80 Hz** → **120 Hz**

サブウーファースのローパスフィルターを設定する (S-W LPF)

※初期設定は「**THROUGH**」です。

2 サウンドを設定する操作手順で「**S-W LPF**」を選ぶ

3 [UP]または[DN]ボタンを押して、設定内容を選ぶ

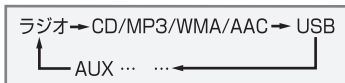
THROUGH → **50 Hz** → **80 Hz** → **120 Hz**

ラジオを聴く

ラジオを選ぶ

1 [SRC]ボタンを押す

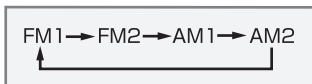
→押すたびに、ソースが切り換わります。



受信バンドを切り換える

1 [MENU]ボタンを押す

→押すたびに、バンドが切り換わります。



自動選局する(シーク選局)

1 「MANU」が点灯しているときは、[MENU]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「MANU」が点灯すると、自動選局ができます。

2 [SEEK PANEL]を左または右へスライドさせる

→放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

手動選局する(マニュアル選局)

1 「MANU」が消灯しているときは、[MENU]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「MANU」が点灯すると、手動選局ができます。

2 [SEEK PANEL]を左または右へスライドさせて、放送のあるところに合わせる

→手動選局には、ステップ選局とクイック選局があります。

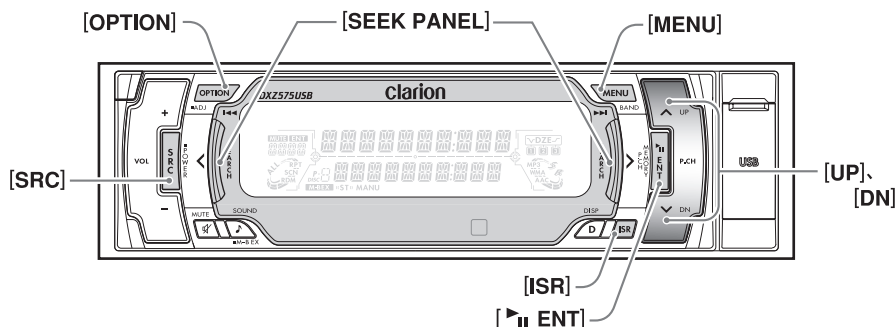
- ステップ選局のときは、[SEEK PANEL]を左または右へスライドさせると、周波数が1ステップずつ切り換わります。
- クイック選局のときは、[SEEK PANEL]を左または右へスライドさせ保持し続ける(約1秒間)と、周波数が連続して切り換わり、お好みの周波数に合わせることができます。

プリセット選局する

あらかじめメモリーしてある放送局を選局する機能です。

1 [UP]または[DN]ボタンを上または下へ押して、聴きたい放送局を選ぶ

→ディスプレイに放送局名とプリセットNo.を表示します。



プリセットメモリーする

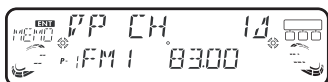
プリセットメモリーできるのは、FM1、FM2、AM1、AM2各6局、合計で24局です。

1 [MENU]ボタンを押して、メモリーしたい受信バンドを選ぶ

2 [SEEK PANEL]を左または右ヘスライドさせて、メモリーしたい放送局を選ぶ

3 [ENT]ボタンを押してプリセットメモリー画面へ切り換える

→ディスプレイの「ENT」が点滅します。



4 [UP]または[DN]ボタンを上または下へ押して、メモリーしたいプリセット番号を選ぶ。

→プリセット番号表示がかわります

5 [ENT]ボタンを押し続ける(約2秒間)

→タイトル表示部に「MEMORY」と表示し、プリセットメモリーされます。

自動メモリーする(オートストア機能)

自動受信した放送局を、自動的にプリセットメモリーします。

1 [OPTION]ボタンを押す

2 [SEEK PANEL]を左または右ヘスライドさせて、「AUTO STORE」を選ぶ



3 [ENT]ボタンを押し続ける(約2秒間)

→ディスプレイ部に自動メモリー動作中のプリセットNo.を表示します。

自動的に、受信感度の良い放送局がプリセットメモリーに登録されていきます。

ご注意

- 自動メモリーをすると、これまで登録されていた放送局は消去されます。
- 登録できる放送局が6局に満たない場合は、低い周波数に戻って、登録をします。また、自動メモリーを2回繰り返しても6局に満たない場合は、それまでの登録内容が残ります。

放送を確かめる (プリセットスキャン)

プリセットスキャンは、プリセットメモリーされている放送局を順に受信します。

- 1 [OPTION]ボタンを押す、
- 2 [SEEK PANEL]を左または右へスライドさせて、「**PRESET SCN**」を選ぶ、
- 3 [**▶|| ENT**]ボタンを押す

→ディスプレイ部の「**SCN**」が点灯しプリセットスキャン動作中のプリセットNo.を表示します。

- メモリーしている放送局を、順に約7秒間ずつ受信します。また受信できない放送局はとばして、次の放送局を受信します。

■ プリセットスキャンを解除するには…

もう一度、[**▶|| ENT**]ボタンを押してください。

→ボタンを押したときに受信していた放送局を継続して聴くことができます。

特定の放送局をすぐに選局する (ISR機能)

ISR(Instant Station Recall)機能について…

どのソースからでもすぐに特定の放送局を呼び出す機能です。交通情報など、運転中に聞きたい情報などをすばやく選局できます。

※初期設定では、AM1620kHzの交通情報がメモリーされています。

1 [ISR]ボタンを押す

→ディスプレイに「**ISR**」を表示します。

- ユーザータイトルが設定されていないときは、「**NO TITLE**」を表示します。
ISRにメモリーされている放送局を選局します。

■ 元のモードに戻すには…

もう一度、[ISR]ボタンまたは[**SRC**]ボタンを押してください。

■ ISRにメモリーするには…

メモリーしたい放送局を選局し、[ISR]ボタンを押し続けます(約2秒間)。

→ISRにメモリーされます。

CD/MP3/WMA/AACを聴く

MP3/WMA/AACについて

■MP3とは

MPEG規格のオーディオ・レイヤー3(MPEG audio layer3)に分類される音声圧縮方式で、パソコンユーザーの間で同方式は標準フォーマットとして浸透しています。

オリジナルの音声データを約1/10のデータ量にまで圧縮でき、更に高音質なのが特長です。1枚のCD-R/RWディスクに、CD約10枚分に相当する音楽を収録することで、ディスク交換不要の長時間再生が可能です。

■WMAとは

- 「Windows Media Audio」の略で、マイクロソフトが開発したオーディオファイルのことです。
- WMAのDRM(著作権保護)がONのままのファイルを再生した場合は、音声が出力されません。
- Windows Media™、及びWindows®ロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標および登録商標です。

■AACとは

- 「Advanced Audio Coding」の略で、映像圧縮規格(MPEG-2、MPEG-4)で使われる音声圧縮方式です。

■DRM(著作権保護)の解除方法について

- Windows Media Player 9ご利用時は、「ツール」「オプション」「音楽の録音」のタブで、「録音設定」の中の「保護された音楽を録音する」のチェックボックスをはずして、再度ファイルを作成してください。
- Windows Media Player 10ご利用時は、「ツール」「オプション」「音楽の取り込み」のタブで、「取り込みの設定」の中の「取り込んだ音楽を保護する」のチェックボックスをはずして、再度ファイルを作成してください。

※作成したWMAファイルにおいては、個人の責任において実施してください。

■ファイル作成時のご注意

再生可能なサンプリングレート・ビットレート

- ・「仕様」(60ページ)をご覧ください。

ファイル拡張子

- ・ファイル拡張子には、必ず半角文字で拡張子「**.MP3**」(「**.mp3**」)、「**.WMA**」(「**.wma**」)、「**.M4A**」(「**.m4a**」)を付けてください。それ以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかった場合には、再生できません。

論理フォーマット(ファイルシステム)

- ・MP3/WMA/AACファイルをCD-R/RWに記録する場合、ライティングソフトのフォーマット設定は「ISO9660(レベル1,2)」、JOLIET、ROMEO、APPLE ISOを選択してください。他のフォーマットで記録した場合には正常に再生しない場合があります。
- ・同一フォルダ内に、同じファイル名を付けないでください。

TAG表示について

- ・MP3/WMA/AAC再生ではフォルダ名、ファイル名、TAGをタイトルとして表示することができます。表示できる文字は、半角英数/カナ/記号で、それ以外の文字を入力したときは、正しく表示しない場合があります。
- ・TAGのないMP3/WMA/AACフォルダは「**NO TITLE**」が表示されます。
- ・MP3の場合は、ID3-TAG V2.3/2.2/1.1/1.0に対応しています。TAG表示は、V2.3/2.2を優先します。
- ・WMAの場合、アルバムTAGは、拡張ヘッダーに書き込まれた情報を表示します。

フォルダ階層

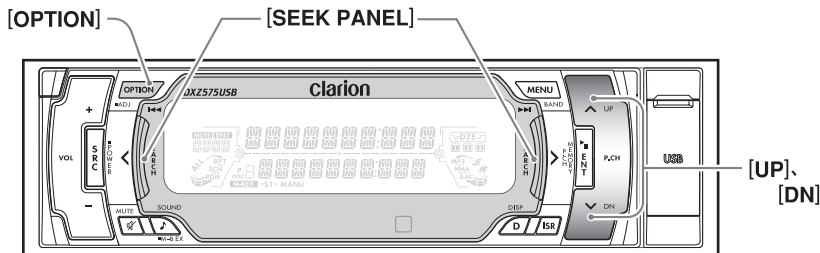
- ・フォルダが8階層を超えたディスクについては、再生できません。

ファイル/フォルダ数

- ・曲のファイル数は、次の通りです
MP3/WMA/AAC

：最大で510ファイル

USB：255フォルダー、1フォルダあたり
255ファイルまで認識します。



■ディスクの再生について

- ディスクを入れると、タイトル部に「**FILE READ**」を表示して、ディスク内のファイルをチェックします。その間は音がでません。読み込めないファイル等、作成したディスクによっては、チェックする時間がかかる場合があります。
- WMAのDRM(著作権保護)がONのままのファイルを再生した場合は、音声が出されません。「**WMA**」インジケーターが点滅します。
- MP3/WMA/AACデータ以外のファイルは再生できません。演奏時間表示部に「— : —」と点滅表示します。
- 曲の演奏はディスクに記録した順番に行われます。(パソコン上で表示される順番通りに演奏されるとは限りません。)
- 記録時のエンコーダーソフトによっては、若干ノイズが発生する場合があります。
- 読み込めないファイルは、飛ばして次のファイルを再生します。
- 画像データを含むAACファイルを再生する場合、再生が始まる迄に時間がかかることがあります。

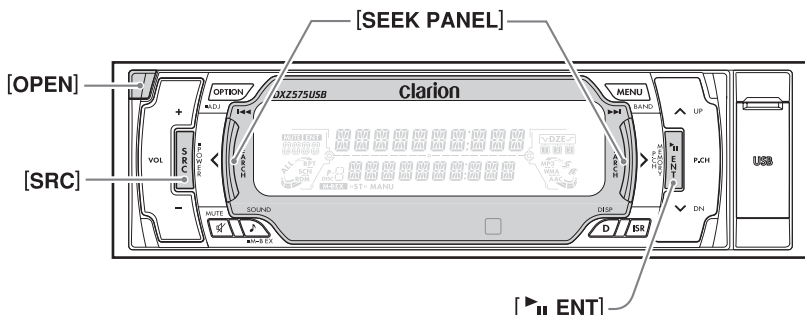
演奏するファイルの種類を設定する(マルチセッション機能)

通常のCDタイプの曲とMP3/WMA/AACタイプの曲が混在しているディスクのときに、どのタイプで記録された曲を演奏するかを選択できます。

※初期値は「**CD**」です。

音楽CDあるいはMP3/WMA/AACのどちらか1つだけ記録されたディスクの場合には、どちらに設定しても再生できます。

- 1** [OPTION]ボタンを押す、
- 2** [SEEK PANEL]を左または右へスライドさせて、「**M-SESS**」を選ぶ、
- 3** [UP]または[DN]ボタンを押して、「**CD**」または「**MP3**」を選ぶ
 - **CD** : 音楽CDだけを再生したいとき
 - **MP3** : MP3/WMA/AACだけを再生したいとき
- 4** [OPTION]ボタンを押して、元のモードに戻る
- 5** 設定が完了したら、ディスクを取り出し再挿入してください。
 - CCCD(コピーコントロールCD)を演奏する場合は、CDタイプに設定してください。MP3/WMA/AACタイプに設定すると、正常に再生されない場合があります。



ディスクを入れる/取り出す

ディスク・イン・プレイ機能について…

本機の電源が入っていない状態からでも、車のエンジンキーがONまたはACCであればディスクを入れると、自動的に電源が入り、演奏をはじめます。

⚠ 注意

- ディスク挿入口に手や指を入れないでください。また、異物を入れないでください。
- セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出していたり、はがした痕があるCDは入れないでください。CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

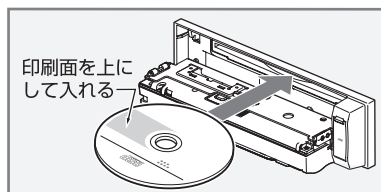
ご注意

- ディスクがスムーズに挿入口に入らない場合は、本機に他のディスクが入っているか、修理が必要な場合が考えられます。
- 8cmディスクは再生できません。

1 [OPEN]ボタンを押す

→フリップダウンパネルが開きます。

2 挿入口にディスクを入れる

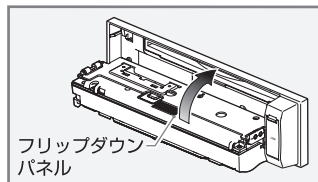


→ディスクを入れると、タイトル表示部に「**FILE READ**」を表示したのち、MP3/WMA/AACディスクは、「**MP3**」を表示して演奏が始まります。

- CD-RまたはCD-RWで記録されたディスクでも使用できない場合があります。

3 フリップダウンパネルを閉める

- DCPの中央部を押して閉めてください。



■ディスクを取り出すには

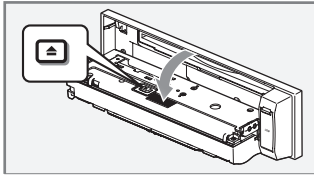
バックアップイジェクト機能について…
本機の電源が入っていない状態からでも
イジェクトボタンを押すと、ディスクを
取り出すことができます。

1 [OPEN]ボタンを押して、フリップダウンパネルを開く

ご注意

- フリップダウンパネルが十分に開かないときは、手でゆっくりと開いてください。

2 [▲]ボタンを押す



→ディスクがイジェクトされたら、取り出します。

3 フリップダウンパネルを閉める

- DCPの中央部を押して閉めてください。

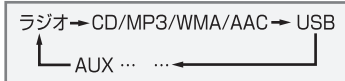
ご注意

- ディスクを取り出したら、必ずフリップダウンパネルを閉めてください。

すでに入っているディスクを聴く

1 [SRC]ボタンを押して、CD/MP3/WMA/AACを選ぶ

→CD/MP3/WMA/AACになると、自動的に演奏がはじまります。
ディスクが入っていないときは、タイトル表示部に「**NO DISC**」と表示します。



曲を選ぶ

1 次の曲を聴くときは、[SEEK PANEL]を右へスライドさせる

前の曲を聴くときは、[SEEK PANEL]を左へ2回スライドさせる

→右へスライドさせると、次の曲が演奏されます。またスライドさせた回数だけ先の曲が演奏されます。
左へスライドさせると、演奏中の曲を最初から演奏します。さらにスライドさせた回数だけ前の曲が演奏されます。

- 曲の頭部分を演奏しているときに左へ2回スライドさせると、2曲前の曲へ戻ることがあります。

演奏を止める(一時停止する)

1 [⏸] ENT]ボタンを押す

→タイトル表示部に「**PAUSE**」を表示します。

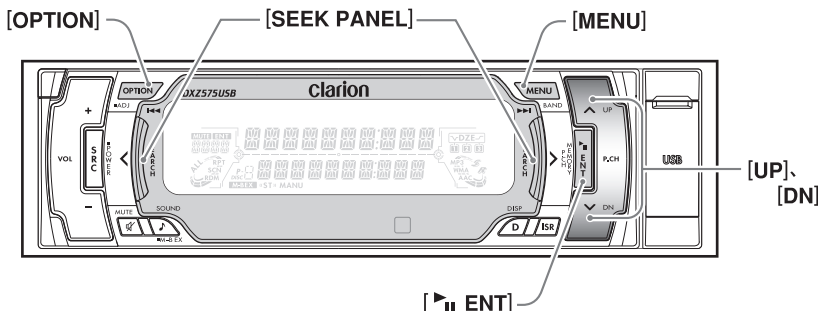
■ 続けて演奏を聴きたいときには…
もう一度、[⏸] ENT]ボタンを押してください。

早送り/早戻しする

1 早送りするときは、[SEEK PANEL]を右へスライドさせて保持する

早戻しするときは、[SEEK PANEL]を左へスライドさせて保持する

- MP3/WMA/AACディスクの場合は、サーチ開始および曲間で多少時間がかかります。また、演奏時間表示に誤差が生じる場合があります。



最初の曲から聴く(トップ機能)

演奏しているディスクの最初の曲から演奏をはじめます。

1 [MENU]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→最初の曲(トラックNo.1)から演奏されます。
MP3/WMA/AACの場合は、演奏中のフォルダの1曲目に戻ります。

フォルダを切り換える

MP3/WMA/AACディスク再生時、MP3/WMA/AACファイルのあるフォルダを選択して、そのフォルダ内の最初の曲から演奏します。

1 次のフォルダに移るときは、[UP]ボタンを押す

前のフォルダに戻るときは、[DN]ボタンを押す

■ 曲を選ぶには...

[SEEK PANEL]を左または右ヘスライドさせてください。

トラックリストを表示して選曲する

音楽再生中に現在の曲を止めずに、再生曲フォルダ内に収納されたトラックをダイレクトに選択し再生することができます。
この機能はCD/MP3/WMA/USBモードで対応できます。

1 [MENU] ボタンを押して、リストサーチモードにする

→ディスプレイに曲名リストが表示されます。

2 [UP]または[DN]ボタンを押して、曲を選ぶ

- [SEEK PANEL] を左または右ヘスライドさせたとき、曲リストは一度に5つの行をスクロールします。

3 [▶|| ENT]ボタンを押す

→元のディスプレイ表示に戻り、選んだ曲を演奏します。

- MP3/WMA/AAC/USBのとき、この機能は演奏中のフォルダ内で行なわれます。
- 操作が10秒間行なわれないときは、このリストサーチモードをキャンセルして元のモードに戻ります。

いろいろな演奏(スキャン/リピート/ランダム演奏)

1 [OPTION]ボタンを押す



■ 聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

ディスクに収録されている全曲を約10秒間ずつ演奏します。

2 [SEEK PANEL]を左または右ヘスライドさせて、「SCN」を選ぶ

3 [UP]または[DN]ボタンを押して、「TRACK」を選ぶ

4 [▶|| ENT]ボタンを押す

→ディスプレイの「SCN」が点灯して、スキャン演奏をします。

- スキャン演奏は、演奏している曲の次の曲からはじまります。

■ 聴きたいフォルダを探す (フォルダスキャン演奏)

MP3/WMA/AACディスク内の全てのフォルダの最初の曲を約10秒間ずつ演奏します。

2 [SEEK PANEL]を左または右ヘスライドさせて、「SCN」を選ぶ

3 [UP]または[DN]ボタンを押して、「ALL」を選ぶ

4 [▶|| ENT]ボタンを押す

→ディスプレイの「ALL」と「SCN」が点灯して、フォルダスキャン演奏をします。

- スキャン演奏は、演奏している曲の次の曲からはじまります。

■ 1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

演奏中の曲を繰り返し演奏します。

2 [SEEK PANEL]を左または右ヘスライドさせて、「RPT」を選ぶ

3 [UP]または[DN]ボタンを押して、「TRACK」を選ぶ

4 [▶|| ENT]ボタンを押す

→ディスプレイの「RPT」が点灯して、リピート演奏をします。

■ フォルダ内の曲を繰り返し聴く (フォルダリピート演奏)

演奏中のMP3/WMA/AACディスクのフォルダ内の曲を繰り返し演奏します。

2 [SEEK PANEL]を左または右ヘスライドさせて、「RPT」を選ぶ

3 [UP]または[DN]ボタンを押して、「ALL」を選ぶ

4 [▶|| ENT]ボタンを押す

→ディスプレイの「ALL」と「RPT」が点灯して、フォルダリピート演奏をします。

■ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)

ディスクに収録されている曲を順不同に演奏します。

2 [SEEK PANEL]を左または右ヘスライドさせて、「**RDM**」を選ぶ

3 [UP]または[DN]ボタンを押して、「**TRACK**」を選ぶ

4 [▶|| ENT]ボタンを押す

→ディスプレイの「**RDM**」が点灯して、ランダム演奏をします。

■ランダムに演奏を聴く (フォルダランダム演奏)

MP3/WMA/AACディスク内の全てのフォルダの全ての曲を順不同に演奏します。

2 [SEEK PANEL]を左または右ヘスライドさせて、「**RDM**」を選ぶ

3 [UP]または[DN]ボタンを押して、「**ALL**」を選ぶ

4 [▶|| ENT]ボタンを押す

→ディスプレイの「**ALL**」と「**RDM**」が点灯して、フォルダランダム演奏をします。

■演奏を解除するには

2 [SEEK PANEL]を左または右ヘスライドさせて、「**TRICK PLAY OFF**」を選ぶ

3 [▶|| ENT]ボタンを押す

→ディスプレイの演奏状態表示が消えて、演奏している曲から通常の演奏になります。

USBメモリーのオーディオファイルを聴く

<USBの操作について>

次の操作はCD/MP3/WMA/AACと同様の操作です。

- 曲を選ぶ
- 一時停止
- スキャン/リピート/ランダム演奏
- フォルダー選択
- 早送り/早戻し
- トップ機能
- トラックリスト選曲

「CD/MP3/WMA/AACを聴く」(35～38ページ)をご覧ください。

USBメモリーについて

- USBはユニバーサル・シリアル・バスの略称で、12Mbpsのデータ転送レートをサポートする外部バスの標準です。
- 本機は最大12Mbpsの転送レートで、USB 1.1/2.0互換です。

- 本機のUSBスロットに接続をして再生できるUSBメモリーは、「USBマストレージクラス」として認識されることが条件となりますが、すべてのUSBメモリーの動作を保証するものではありません。

※「USBマストレージクラス」に準拠したデバイスは、特殊なドライバーやアプリケーションソフトを使用することなく接続するだけで使用できます。

- 使用するUSBメモリーが「USBマストレージクラス」に準拠しているかは、USBメモリーの販売メーカーにお問い合わせください。

- 本機で再生できるオーディオファイルは、MP3/WMA/AACファイルのみです。詳しくは「MP3/WMA/AACについて」(32ページ)をご覧ください。

著作権保護されたWMAファイルは、本機による再生はできません。

- USBメモリーを本体に挿入すると突起物となり、運転中に何らかの危険を及ぼす場合があります。市販のUSB延長ケーブルを使用し、安全な接続方法でご使用ください。
- 記録されているデータを消失してしまったのために、貴重なデータは必ずパソコンなどにバックアップをとっておくことをお勧めします。
- 本機はパソコンとの接続には対応していません。

また、USBハブを介して接続することもできません。

- 二つ以上のドライブで構成されているUSBメモリーは、どちらか一方のドライブのみを認識します。
- セキュリティー機能の付いたUSBメモリーは再生できません。
- iPodはUSBに接続しないでください。再生されないあるいはコントロールできない場合があります。iPodの接続はCeNET iPodインターフェースを使用してください。詳しくは「iPod BBを操作する」(47ページ)を参照。
- 接続するUSBメモリーによっては曲順等が変わってしまう場合があります。(パソコン上で表示される順番通りに演奏されるとは限りません。)

ご注意

- USBメモリーの抜き差しは、USBメモリーにアクセスしていないときに行ってください。次のようなときに行なうと、データが破損する場合があります。
…読み込み中にUSBメモリーを抜いたり、電源をOFFしたとき
- …静電気、電気ノイズの影響を受けたとき
- USBメモリーを車内に放置しないでください。直射日光や高温等の影響により、USBが変形したり故障する場合があります。

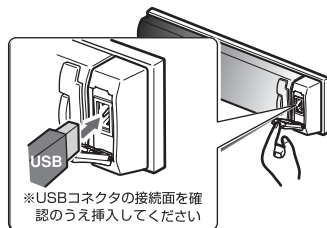
USBメモリーを接続する

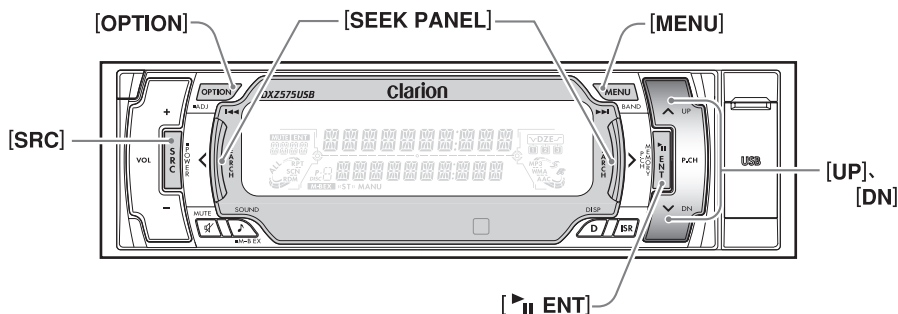


警告

- USBスロットに異物を入れないでください。

1 USBスロットカバーを開ける

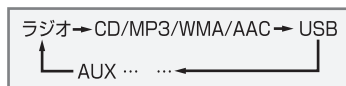




2 USBスロットにUSBメモリーを挿入する

→挿入すると、USBメモリーに保存された最初のファイルから演奏をはじめます。

- USBメモリーを認識しない場合は、[SRC]ボタンを押してソースを切り換えてください。
- USBメモリーはコネクタの奥までしっかりと差し込んでください。差し込みが不完全ですと、USBメモリーを認識しない場合があります。
- USBメモリーの形状によっては本体に挿入できない場合があります。そのような場合には市販されているUSB延長ケーブルを使用して接続してください。
- 収録されている曲数によっては読み込みまでに時間がかかる場合があります。
- 接続するUSBメモリーによっては曲順等が変わってしまう場合があります。(パソコン上で表示される順番通りに演奏されるとは限りません。)



- USBメモリーが接続されているときにUSBモードを表示します。
- USBメモリーを取り外し再度挿入したときは、USBメモリー記録されたファイルの最初から演奏をはじめます。

演奏を終了するには

1 [SRC]ボタンを押して、USBモード以外のソースに切り換える

ご注意

- USBモード中にUSBメモリーを抜き取らないでください。USBメモリーのデータが破損する場合があります。貴重なデータは必ずパソコン等にバックアップデータを保存しておいてください。

2 USBスロットからUSBメモリーを取り外す

3 USBスロットのカバーを閉じる

ご注意

- 演奏終了後はUSBスロットのカバーを閉じて、ホコリ等侵入による接続端子の損傷を防止してください。

接続されたUSBメモリーを聴く

1 [SRC]ボタンを押して、ソースを切り換える

→押すたびに次のように切り換わります。
USBモードになると前回停止したところから始まります。

タイトルをつける

タイトルを入力する

ラジオやTVの放送局やCDに10文字までのタイトルをつけ、受信時やCD演奏時に表示させることができます。(ラジオ、TV、CD、CDチェンジャー時) 入力できるタイトル数は、次の通りです。

- ラジオ/TV : 30タイトル
- CD : 50タイトル
- CDチェンジャー
DCZ625 : 100タイトル

1 [OPTION]ボタンを押す

2 [SEEK PANEL]を左または右ヘスライドさせて、「TITLE INPUT」を選ぶ

→ディスプレイの「ENT」が点滅します。

3 [ENT]ボタンを押す

→タイトル入力モードになります。

※次の手順4～6を繰り返して、タイトルを入力します。

4 [SEEK PANEL]を左または右ヘスライドさせて、入力位置を決める

→点滅している入力位置が左右に移動します。

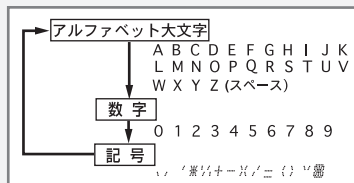
- 入力できる文字数は、10文字です。

ご注意

ノイズなどの原因によって、本機のマイコンが誤動作したときなどに、リセットボタンを押すと、本機にメモリーされていたタイトルなどのユーザーメモリーは全て消去されます。

5 [MENU]ボタンを押して、文字の種類を選ぶ

→ボタンを押すと、次のように文字の種類が切り換わります。



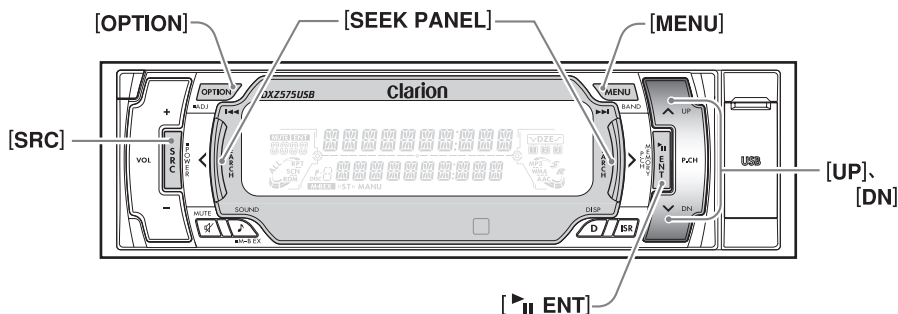
■上書きしたタイトルの右側に発生する余分な文字を削除するには本機のタイトル入力機能には文字削除ボタンがありません。余分な文字をスペースで置き換えてください

6 [UP]、[DN]ボタンを押して、入力文字を決める

7 [ENT]ボタンを押し続ける(約2秒間)

→タイトル表示部に「MEMORY」を表示し、タイトルがメモリーされます。

次ページに続く➡



- 本機でCD演奏中にメモリーしたディスクタイトルは、そのディスクをCDチェンジャーで演奏した場合、メモリーしたタイトルは表示することができます。CDチェンジャー演奏中にメモリーしたディスクタイトルは、そのディスクを本機で演奏した場合、メモリーしたタイトルを表示することができます。

■ **タイトル表示を切り換えるには…**
[D]ボタンを押してください。

■ **タイトルメモリーがいっぱいになると…**

- ラジオ局タイトルの場合
プリセットチャンネルとISRにメモリーされていないタイトルを自動的に消去して新しいタイトルをメモリーします。
- ディスクタイトルの場合
演奏回数の少ないタイトルを自動的に消去して新しいタイトルをメモリーします。

タイトルを削除する

- 1 [SRC]ボタンを押してソースを選ぶ(ラジオ、TV、CDまたはCDチェンジャー)
- 2 削除したいタイトルのラジオ/TV局を受信するまたはCDを演奏する
- 3 [OPTION]ボタンを押す
- 4 [SEEK PANEL]を左または右へスライドさせて、「TITLE INPUT」を選ぶ
- 5 [▶|| ENT]ボタンを押す
→表示されているタイトルの1文字目が点滅して、タイトル入力表示になります。
- 6 [MENU]ボタンを押し続ける(約1秒間)
→タイトルが消えます。
- 7 [▶|| ENT]ボタンを押し続ける(約2秒間)

設定を変更する(アジャストモード)

設定を変更する

1 [OPTION]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→タイトル表示部に前回調整した項目「**CLOCK**」等を表示して、アジャストモードになります。



2 [SEEK PANEL]を左または右ヘスライドさせて、設定する項目を選ぶ



3 ディスプレーの「ENT」が点滅のときは、[ENT]ボタンを押して設定内容を表示させる

[UP]、[DN]ボタンを押して設定する

■ 元のモードに戻すには…

設定終了後に、[OPTION]ボタンを押してください。

ディスプレイのコントラストを調整する(CONTRAST)

ディスプレイのコントラスト(色合い)を本機の取付角度に合わせて調整することができます。

※初期設定は、「7」です。

2 設定を変更する手順で「CONTRAST」を選ぶ

3 [UP]、[DN]ボタンを押して、コントラストを調整する

- コントラストの調整範囲は、「1」～「16」の範囲です。

メッセージを入力する(MESSAGE INPUT)

本機では英数記号を使用して30文字まで入力することができ、入力したメッセージをスクリーンセーバーとして設定することができます。

※初期設定は「**WELCOME TO CLARION**」です。

2 設定を変更する手順で「MESSAGE INPUT」を選ぶ

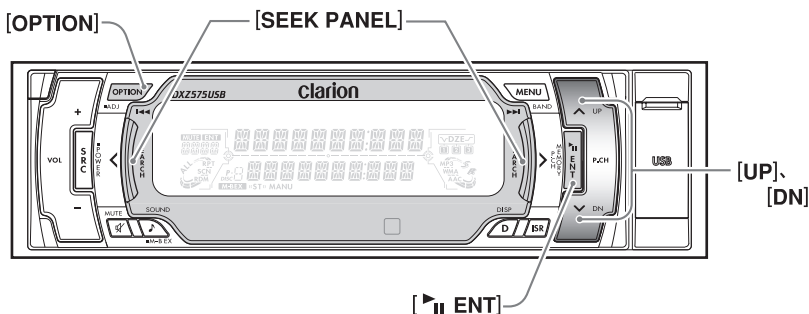
3 [ENT]ボタンを押して、タイトル入力にする

- 「タイトル入力をする」(41ページ)の手順4～6を繰り返して、メッセージを入力します。

- メッセージ入力後に、[ENT]ボタンを約2秒間押し続けると、タイトル表示部に「**MEMORY**」を表示してメモリーされます。

※入力の途中で、[ENT]ボタンを押したときは、メッセージ入力をキャンセルして、元の状態に戻ります。

設定を変更する(アジャストモード)



タイトルスクロール方法を設定する(AUTO SCR)

タイトルスクロールは、タイトルが表示文字数より長いときに、タイトルの末尾まで文字送りをして確認できる機能です。

※初期設定は、「ON」です。

2 設定を変更する手順で「AUTO SCR」を選ぶ

3 [UP]、[DN]ボタンを押して、設定内容を選ぶ

- **ON** : 自動でスクロールを始め、スクロールを繰り返します。
- **OFF** : 1回のみスクロールします。

タイトルスクロールの速さを設定する(SCRL SPD)

タイトルスクロールする速さを設定することができます

※初期設定は、「3」です。

2 設定を変更する手順で「SCRL SPD」を選ぶ

3 [UP]、[DN]ボタンを押して、設定内容を選ぶ

- 設定できる範囲は、「1」(速い)から「6」(遅い)です。

ディスプレイ照明を設定する(DIMMER)

車のイルミネーションに連動させて、ディスプレイの照明を減光させることができます。

※初期設定は、「MID」です。

2 設定を変更する手順で「DIMMER」を選ぶ

3 [UP]、[DN]ボタンを押して、設定内容を選ぶ

- **HIGH** : 照明の明滅が速くなります。
- **MID** : 中間の速さです。
- **LOW** : 照明の明滅がゆっくりとなります。
- **OFF** : 明滅しません。

盗難防止インジケータを設定する(BLINKLED)

DCP脱着時にCD挿入口のインジケータを赤く点滅させ、視覚的效果による盗難抑止効果を発揮します。

※初期設定は、「OFF」です。

2 設定を変更する手順で「BLINKLED」を選ぶ

3 [UP]、[DN]ボタンを押して、設定内容を選ぶ

- **ON** : DCP脱着時にLED点滅
- **OFF** : 点滅しません。

携帯電話の出力スピーカーを設定する(TEL SP)

携帯電話の割り込み機能が「ON」に設定されているときに、通話音声は本機のスピーカーから出力されます。

※初期設定は、「L」(左側)です。

通話時のハウリング防止のため、運転席と反対側のスピーカーを選択してください。

2 設定を変更する手順で「TEL SP」を選ぶ

3 [UP]、[DN]ボタンを押して、「R」または「L」を選ぶ

- **R** : 右側のスピーカーから出力
- **L** : 左側のスピーカーから出力

携帯電話音声の割り込みを設定する(TEL SW)

携帯電話を別販の接続ユニットを介して接続すると、本機のスピーカーから携帯電話音声を聞くことができます。

※初期設定は、「OFF」です。

2 設定を変更する手順で「TEL SW」を選ぶ

3 [UP]、[DN]ボタンを押して、「OFF」、「ON」または「MUTE」を選ぶ

- **OFF** : 割り込みしません。
- **ON** : 携帯電話音声は本機のスピーカーから再生されます。
また、本機の音量は[VOL]ボタンで調整することができます。
- **MUTE** : 本機の再生音はミュートされます。

ご注意

- AUXブルーツースBB(BLT370)を接続するときは、この機能を「ON」に設定してください。

内蔵アンプを設定する(A CANCEL)

外部アンプ使用時に、内蔵アンプの出力を停止することができます。

※初期設定は、「OFF」です。

2 設定を変更する手順で「A CANCEL」を選ぶ

3 [UP]、[DN]ボタンを押して、設定内容を選ぶ

- **ON** : 内蔵アンプをOFFします。
- **OFF** : 内蔵アンプをONします。

システムをチェックする(SYSTEM CHECK)

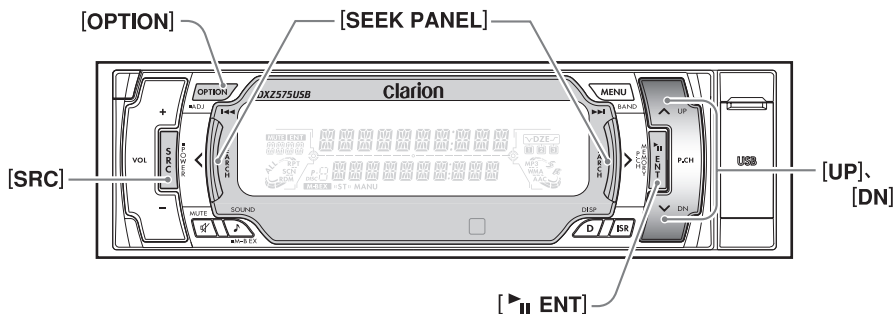
マニュアルでシステムをチェックします。

2 設定を変更する手順で「SYSTEM CHECK」を選ぶ

3 [▶||ENT]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→システムチェックが完了すると、元のモードに戻って再生をはじめます。

iPod BBを操作する



<iPod BBについて>

この章はCeNET iPodインターフェース (EA1276A)を接続したときの操作について説明しています。ここでは、CeNET iPodインターフェース (EA1276A)をiPod BBと略称します。

- iPod BBの接続と使用上の諸条件についてはiPod BBの取扱説明書を参照してください。

iPodを接続する

1 iPod BBにiPodを接続する

→iPodの“リピート演奏”は“オールリピート演奏”に設定されます。

また、iPodで再生していた“シャッフル演奏”は次のように設定されます。

- シャッフル(アルバム)→ランダム演奏
- シャッフル(ソング)→オールランダム演奏

iPod BBは、再生機能の“プレイモード”と選曲機能の“iPodメニューモード”の2つがあります。この機能は[MENU]ボタンで切り換えます。

iPod BBを選ぶ

1 [SRC]ボタンを押す

→iPodあるいはiPod BBで再生していた最後のファイルから再生をはじめます。

- プレイモード時の次の操作は、CDと同様の操作です。

…曲を選ぶ ; [SEEK PANEL]

…早送り/早戻し ; [SEEK PANEL]

…一時停止 ; [▶|| ENT]

「CD/MP3/WMA/AACを聴く」(35ページ)をご覧ください。

いろいろな演奏 (プレイモード時)

ご注意

- この機能はiPodメニューモードのときには働きません。
- iPodで、あるいはiPod BB接続時に設定したランダム機能は、iPod着脱後もその機能を保持します。
- iPodBBはオールリピートとオールランダムを同時に設定できます。

1 [OPTION]ボタンを押す



■1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

2 [SEEK PANEL]を左または右ヘスライドさせて、「RPT」を選ぶ

3 [UP]または[DN]ボタンを押して、「TRACK」を選ぶ

4 [▶|| ENT]ボタンを押す

→ディスプレイの「RPT」が点灯し、リピート演奏をします。

■カテゴリー内の曲を繰り返し聴く(オールリピート演奏)

2 [SEEK PANEL]を左または右ヘスライドさせて、「RPT」を選ぶ

3 [UP]または[DN]ボタンを押して、「ALL」を選ぶ

4 [▶|| ENT]ボタンを押す

→ディスプレイの「ALL」と「RPT」が点灯し、オールリピート演奏をします。

■カテゴリー内のアルバムをランダムに聴く(ランダム演奏)

この演奏はiPodの「シャッフル(アルバム)」演奏と同じです。

2 [SEEK PANEL]を左または右ヘスライドさせて、「RDM」を選ぶ

3 [UP]または[DN]ボタンを押して、「TRACK」を選ぶ

4 [▶|| ENT]ボタンを押す

→ディスプレイの「RDM」が点灯し、ランダム演奏をします。

■カテゴリー内の曲をランダムに聴く(オールランダム演奏)

この演奏はiPodの「シャッフル(ソング)」演奏と同じです。

2 [SEEK PANEL]を左または右ヘスライドさせて、「RDM」を選ぶ

3 [UP]または[DN]ボタンを押して、「ALL」を選ぶ

4 [▶|| ENT]ボタンを押す

→ディスプレイの「ALL」と「RDM」が点灯し、オールランダム演奏をします。

■演奏を解除するには

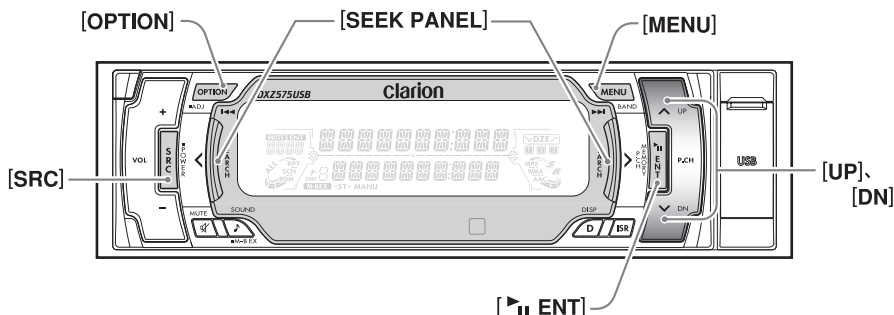
2 [SEEK PANEL]を左または右ヘスライドさせて、「RPT OFF」/「RDM OFF」を選ぶ

3 [▶|| ENT]ボタンを押す

→ディスプレイの表示が消え、通常の演奏に戻ります。

ご注意

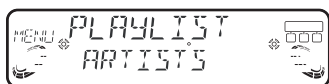
- オールリピート演奏を解除したときは、全ての曲の演奏が終わると停止します。



iPodメニューからカテゴリーを選ぶ

1 [MENU]ボタンを押す。

→iPodメニューのカテゴリーが表示されます。



ご注意

- iPodメニューモードのときは、リピートおよびランダムはできません。

2 [UP]または[DN]ボタンを押して、カテゴリー表示を切り換える

→iPod メニューのカテゴリーは、次のようになります。

“PLAY LIST” → “ARTISTS” → “ALBUMS” → “SONGS”
→ “GENRES” → “COMPOSERS”
→ “PLAY LIST”..

ご注意

- [MENU]ボタンを押すと、iPodメニューモードはキャンセルされます。

3 [SEEK PANEL]を右へスライドさせて、カテゴリーを選ぶ。

4 曲名表示のときに、[SEEK PANEL]を右へスライドさせる

→カテゴリーの最初の曲から再生をはじめ、iPodメニューモードを解除します。

- カテゴリーによってはサブフォルダーが表示される場合があります。そのときは、[UP]または[DN]ボタンを押してサブフォルダーを切り換え、[SEEK PANEL]を右へスライドさせて曲を選択してください。
- 曲名表示のときに[SEEK PANEL]を左へスライドさせると、現在再生中のフォルダー名表示に戻ります。

5 [UP]または[DN]ボタンを押して、カテゴリー内の曲を選ぶ

6 [SEEK PANEL]を右へスライドさせて、選んだ曲を演奏します

タイトル表示について

本機はiPodから送られてくるタイトル情報の表示が可能です。

- 文字コードはUTF-8、表示できる文字は英数字および一部の記号です。
- 表示できない文字のときは、“*” (アスタリスク) で置き換えます。

携帯用オーディオ/携帯電話音声を聴く(AUX)

本機のAUX端子に次の機器のどちらかを接続すると、本機のスピーカーから携帯用機器のオーディオあるいはブルーーツ対応携帯電話の通話音声を聴くことができます。

- AUXブルーーツスBB (BLT370)
 - 市販の携帯用オーディオ
- ※別販のCeNET結線対応AUX入力ユニット(EA-1155A)は接続できません。



警告

走行中、運転者は携帯オーディオ/携帯電話の操作をしないでください。

ーツスBB (BLT370)に付属の取扱説明書をご覧ください。

AUXを選ぶ

1 [SRC]ボタンを押す

→押すたびに、ソースが切り換わります。
AUXになると、接続された携帯用オーディオの操作で、音が再生されます。

外部入力レベルを設定する(AUX SENS)

接続機器のオーディオ入力レベルを設定します。
※初期設定は、「**MID**」です。

1 [OPTION]ボタンを押す

→「**AUX SENS MID**」が表示されます

2 [UP]または[DN]ボタンを押して、入力レベル(「**HIGH**」、「**MID**」、「**LOW**」)を選ぶ

- **HIGH** : 入力レベルが高く音割れなどが発生しているとき
- **MID** : 通常レベルのとき
- **LOW** : 入力レベルが低いとき

AUX入力の接続のしかた

次の機器のどちらかを接続することができます。

●携帯用オーディオを聴くとき

市販のステレオミニプラグコードを使用して、本機のAUX入力端子へ接続してください。

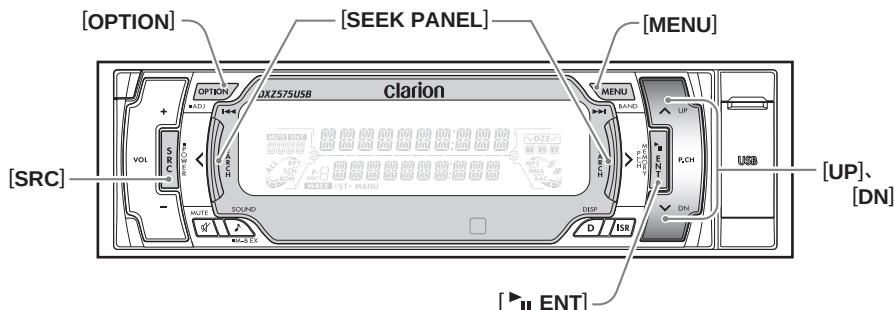
●ブルーーツ対応携帯電話の通話音声を聴くとき

市販のステレオミニコードを使用して、別販のAUXブルーーツスBB (BLT370)を本機のAUX入力端子へ接続してください。

また、この機能を使用するときは、『設定を変更する(アジャストモード)』(45ページ)で次の設定項目を変更してください。

- 「携帯電話音声の割り込みを設定する(TEL SW)」を「**ON**」に設定します。
※初期値は「**OFF**」です。
- 「携帯電話の出力スピーカーを設定する(TEL SP)」で運転席と反対側のスピーカーに設定します。
※初期値は「**L**」(左側)です。
- テレフォン着信時、「**TELEPHONE**」と表示してテレフォンモードになり、通話音声が本機のスピーカーから聞こえます。詳しくは、別版AUXブルー

CDチェンジャーを操作する



<チェンジャーの操作について>

次の操作はCDと同様の操作です。

- 曲を選ぶ
- 早送り/早戻し
- 一時停止
- スキャン/リピート/ランダム演奏

「CD/MP3/WMA/AACを聴く」(35～38ページ)をご覧ください。

■CDチェンジャーについて…

別販のCeNET結線対応のCDチェンジャーを接続すると、本機でCDチェンジャーをコントロールすることができます。CeNET結線対応のCDチェンジャーを2台まで接続できます。

チェンジャーを選ぶ

1 [SRC]ボタンを押す

→チェンジャーになると、自動的に演奏がはじまります。

■2台のCDチェンジャーを接続したときは…

[SRC]ボタンを押してください。

- CDチェンジャーにマガジンが入っていないときは「**NO MAG**」と表示されます。また、マガジン内にCDが入っていないときには、「**NO DISC**」と表示されます。
- タイトル表示については、「表示を切り換える」(25ページ)をご覧ください。

聴きたいディスクを選ぶ

1 [UP], [DN]ボタンを押す

→ディスプレイのディスクNo.が点滅して、演奏をはじめます。

- CDマガジンにディスクが入っていない場合には、その番号は飛ばします。

いろいろな演奏(ディスクスキャン/ディスクリピート/ディスクランダム演奏)

1 [OPTION]ボタンを押す



■聴きたいディスクを探す (ディスクスキャン演奏)

チェンジャー内の全ディスクの最初の曲を約10秒間ずつ演奏します。

2 [SEEK PANEL]を左または右へスライドさせて、「SCN」を選ぶ

3 [UP]または[DN]ボタンを押して、「ALL」を選ぶ

4 [▶|| ENT]ボタンを押す

→ディスプレイの「ALL」と「SCN」が点灯し、ディスクスキャン演奏します。

・ディスクスキャン演奏は、演奏しているディスクの次のディスクからはじまります。

■1枚のディスクを繰り返し聴く (ディスクリピート演奏)

演奏中のディスクを繰り返し演奏します。

2 [SEEK PANEL]を左または右へスライドさせて、「RPT」を選ぶ

3 [UP]または[DN]ボタンを押して、「ALL」を選ぶ

4 [▶|| ENT]ボタンを押す

→ディスプレイの「ALL」と「RPT」が点灯し、ディスクリピート演奏をします。

■全ディスクの演奏をランダムに聴く (ディスクランダム演奏)

チェンジャー内のディスクの曲を順不同に演奏します。

2 [SEEK PANEL]を左または右へスライドさせて、「RDM」を選ぶ

3 [UP]または[DN]ボタンを押して、「ALL」を選ぶ

4 [▶|| ENT]ボタンを押す

→ディスプレイの「ALL」と「RDM」が点灯し、ディスクランダム演奏をします。

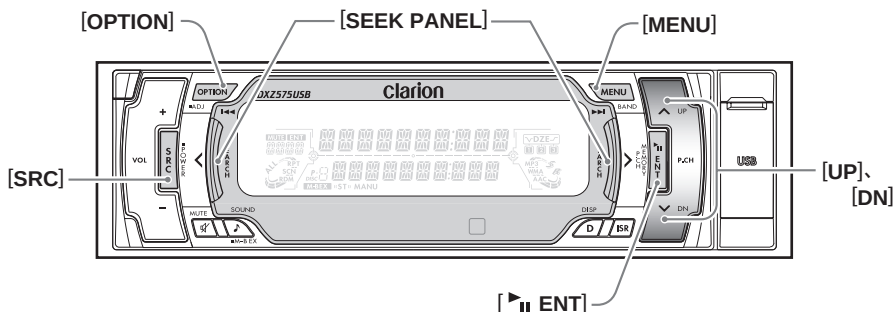
■演奏を解除するには...

2 [SEEK PANEL]を左または右へスライドさせて、「TRICK PLAY OFF」を選ぶ

3 [▶|| ENT]ボタンを押す

→ディスプレイの表示が消え、通常の演奏に戻ります。

テレビを見る



<TVチューナーの操作について>

次の操作はラジオと同様の操作です。

- 自動選局/手動選局/プリセット選局
- プリセットメモリー/自動メモリー(オートストア)
- プリセットスキャン

「ラジオを聴く」(29～31ページをご覧ください)。

■TVチューナーコントロール機能について…

別販のCeNET結線対応のB.B TVチューナーを接続すると、本機でTVチューナーをコントロールできます。TVを見るためには、モニターが必要です。

⚠ 警告

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車してください。

TVを選ぶ

1 [SRC]ボタンを押す

→押すたびに、ソースが切り換わります。

受信バンドを切り換える

1 [MENU]ボタンを押してTV1またはTV2を選ぶ

→押すたびに、バンド(TV1/TV2)が切り換わります。

■プリセットメモリーについて…

プリセットメモリーできるのは、TV1、TV2各6局、合計で12局です。

ビデオを見る

この機能は、TVチューナーにビデオ機器が接続されているときに操作できます。

1 [OPTION]ボタンを押す

2 [SEEK PANEL]を左または右へスライドさせて、「TV/VTR」を選ぶ

→ディスプレイに「TV/VTR」を表示して、「ENT」が点滅します。

3 [ENT]ボタンを押す

→VTRに切り換わります。

■TVに戻すには…

もう一度、[OPTION]ボタンを押し、[ENT]を押すとTVへ切り換わります。

TVチューナー接続時の設定を変更する

1 [OPTION]ボタンを押す

■TV受信時のステレオ/モノラルを設定する(ST/MONO)

TV 放送受信時のステレオ/モノラル音声を設定します。

※初期設定は「**ST**」(ステレオ音声)です。

2 [SEEK PANEL]を左または右へスライドさせて、「**ST/MONO**」を選ぶ

3 [UP]または[DN]ボタンを押して、「**ST**」または「**MONO**」を選ぶ

- **ST** : ステレオ受信時にステレオ音声にします。
- **MONO** : ステレオ受信時にモノラル音声にします。

■TVダイバーシティーを設定する(TV DIVER)

TV 放送受信時に、受信状態の良いアンテナに自動的に切り換えます。

※初期設定は「**OFF**」です。

2 [SEEK PANEL]を左または右へスライドさせて、「**TV DIVER**」を選ぶ

3 [UP]または[DN]ボタンを押して、「**TV DIVER ON**」または「**TV DIVER OFF**」を選ぶ

- **ON** : TVダイバー機能をONします。
- **OFF** : TVダイバー機能をOFFします。

■TV放送受信時の主音声/副音声を設定する(MAIN/SUB)

TV 放送受信時の主音声/副音声を設定します。

※初期設定は「**MAIN**」(主音声)です。

2 [SEEK PANEL]を左または右へスライドさせて、「**MAIN/SUB**」を選ぶ

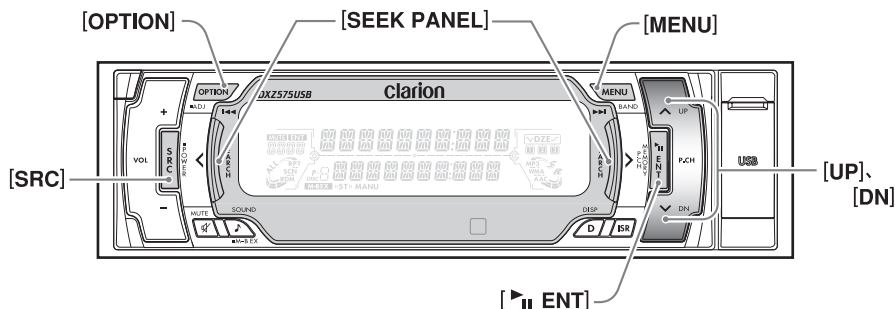
3 [UP]または[DN]ボタンを押して、「**MAIN**」または「**SUB**」を選ぶ

- **MAIN** : 主音声を再生します。
- **SUB** : 副音声を再生します。

■設定を終えたら

4 [OPTION]ボタンを押して、元に戻る

MDデッキでグループ編集MDを聴く



<MDデッキの操作について>

次の操作はCDと同様の操作です。

- 曲を選ぶ
- 早送り/早戻し
- 一時停止
- スキャン/リピート/ランダム演奏

「CD/MP3/WMA/AACを聴く」(35～38ページ)をご覧ください。

グループ機能をON/OFFする

本機はグループ機能で編集されたMD再生時に、グループ機能を利用してスキャン/ランダム/リピート演奏等を行うことができます。

※初期設定は「OFF」です。

- 1** [SRC]ボタンを押して、MDデッキを選ぶ
- 2** [OPTION]ボタンを押す
- 3** [SEEK PANEL]を左または右へスライドさせて、「GROUP」を選ぶ、
- 4** [UP]または[DN]ボタンを押す

→ボタンを押すたびに、ON/OFFが切り換わります。

グループ編集MDを演奏する

グループ機能が設定されている場合には、ディスク情報の読み込み後、演奏を始めます。

■グループ機能「ON」のとき

グループ順に演奏します。グループ化されていない曲(トラック)は最後にまとめて演奏します。

●グループの最初の曲を聴くには…

1 [MENU]ボタンを押す

→再生中のグループの最初の曲から演奏します。

●グループ内で曲を選ぶには…

1 次の曲は[SEEK PANEL]を右へスライドさせる

前の曲は[SEEK PANEL]を左へスライドさせる

●タイトル表示を切り換えるには…

1 [D]ボタンを押してください。

- 押すたびに、トラックタイトル→グループタイトル→ディスクタイトルとかわります。グループ編集MDでない場合は、「NO GROUP」と表示します。

■グループ機能「OFF」のとき

通常のMDと同様に、最初の曲から演奏します。

グループを切り換える

- 1 次のグループのときは、[UP]ボタンを押す
前のグループに戻るときは、[DN]ボタンを押す

いろいろな演奏(グループスキャン/グループリピート/グループランダム演奏)

- 1 [OPTION]ボタンを押す

■聴きたいグループを探す (グループスキャン演奏)

グループの最初の曲を10秒間ずつ演奏します。

- 2 [SEEK PANEL]を左または右へスライドさせて、「SCN」を選ぶ
- 3 [UP]または[DN]ボタンを押して、「ALL」を選ぶ
- 4 [▶|| ENT]ボタンを押す

→ディスプレイの「ALL」と「SCN」が点灯し、演奏している曲の次のグループからスキャン演奏します。

- グループ化されていない曲は、一つのグループとしてまとめて扱われ、全てのグループの先頭曲が演奏された後に、その一番最初の曲がスキャン演奏されます。

■1つのグループを繰り返し聴く (グループリピート演奏)

演奏中のグループ内の曲を繰り返し演奏します。

- 2 [SEEK PANEL]を左または右へスライドさせて、「RPT」を選ぶ
- 3 [UP]または[DN]ボタンを押して、「ALL」を選ぶ

- 4 [▶|| ENT]ボタンを押す

→ディスプレイの「ALL」と「RPT」が点灯し、グループ内の曲をリピート演奏します。

- [RPT]ボタンを押したときは、通常のリピート演奏になります。

■全グループの演奏をランダムに聴く (グループランダム演奏)

MDLPに収録されている全ての曲を順不同に演奏します。

- 2 [SEEK PANEL]を左または右へスライドさせて、「RDM」を選ぶ
- 3 [UP]または[DN]ボタンを押して、「ALL」を選ぶ
- 4 [▶|| ENT]ボタンを押す

→ディスプレイの「ALL」と「RDM」が点灯し、グループランダム演奏します。

■演奏を解除するには

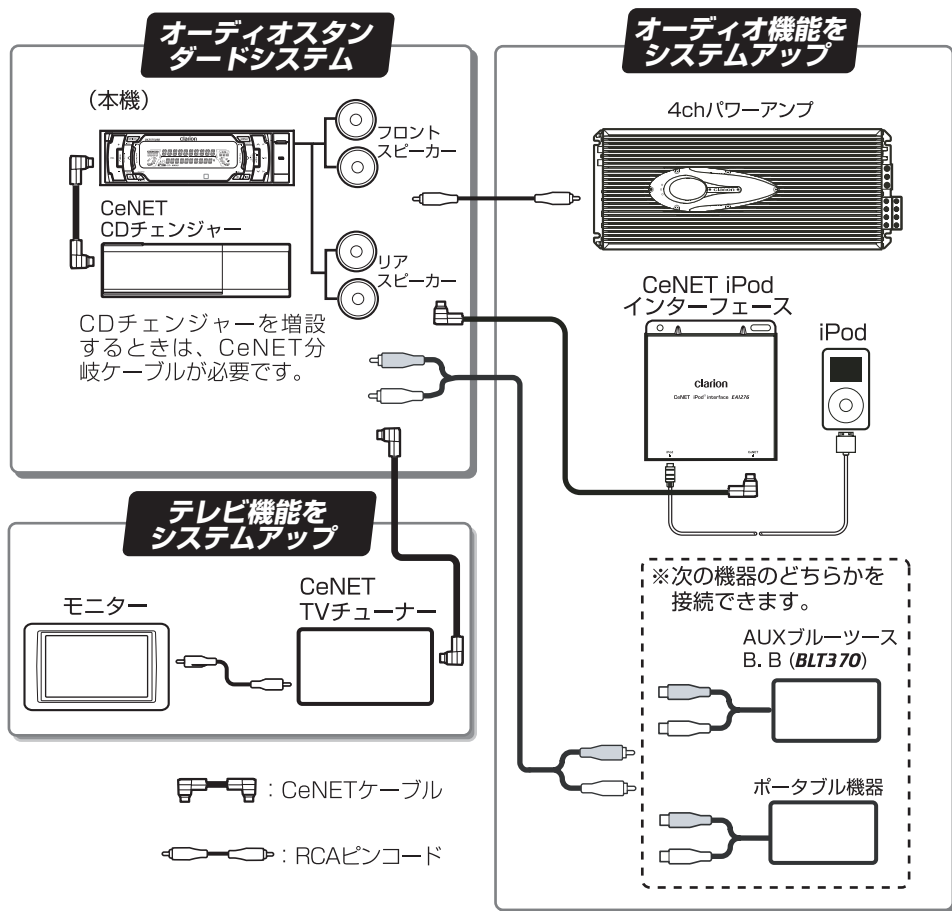
- 2 [SEEK PANEL]を左または右へスライドさせて、「TRICK PLAY OFF」を選ぶ
- 3 [▶|| ENT]ボタンを押す

→ディスプレイの表示が消えて、通常の演奏に戻ります。

システムアップについて

本機は**CeNET**マークのついている外部機器を接続することにより、様々なシステム拡張を行うことができます。

以下のシステムアップ例は本機に接続できる機器の概要を示しています。接続可能モデルおよびそれに必要なCeNETケーブル等の詳細につきましては、販売店あるいは弊社お客様相談室にお問い合わせください。また、接続についての詳細は、ご購入商品に付属の取付説明書をご覧ください。



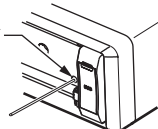
CeNETケーブルについて

CeNET接続ケーブルの最大配線長は、20m以下(CeNET分岐ケーブルCCA-519含む)です。接続の際は、配線長が20mを越えないように、注意してください。

- チェンジャー同梱のケーブル長…5m
- 延長ケーブル(CCA-520)…2.5m
- 分岐ケーブル(CCA-519) …1m
- 延長ケーブル(CCA-521)…0.6m

故障と思われる前に

■ 共 通

現 象	原 因	処 置
電源が入らない (音が出ない)	ヒューズが切れている	入っていたのと同じ容量のヒューズと交換してください。 再度切れる場合は、お買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
	配線が不完全	お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
	アンテナ電源コードまたはリモートオンコードが、金属部に接触してショートしている	本機の電源を切り、アンテナ電源コードおよびリモートオンコードのショートしている箇所を絶縁テープなどで、ショートしないように保護してください。
	パワーアンプ等接続時のリモートオンコードの電流容量不足	接続するパワーアンプ等について、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
ボタンを押しても動作しない、またはディスプレイが正確に表示されない	ノイズなどが原因で、マイコンが誤動作している	1. [OPEN] ボタンを押してフリップダウンパネルをオープンする。 2. リセットボタンを、細い棒などで約2秒間押してください。  リセットボタンを押したときは、設定したプリセットメモリー等が全て消えますので、もう一度設定し直してください。
音が出なくなった	スピーカー保護回路が動作しています	音量をもう少し絞ってお聞きください。 電源を再投入する事で、音声出力は復帰します。 スピーカー保護回路が動作した場合は自動的にボリュームが絞られます。再度、短時間で音が出なくなる場合は相談窓口にご相談ください。

■ ラジオ

現 象	原 因	処 置
雑音が多い	放送局の周波数に合っていない	正しい周波数に合わせてください。
自動選局できない	強い電波の放送局がない	手動選局モードで選局してください。

■ CD/MP3/WMA/AAC

現 象	原 因	処 置
音がでない	ディスクを裏表逆に入れている	ディスクの印刷面を上にして入れてください。
	ディスクにMP3/WMA/AACファイルがない	ディスクにMP3/WMA/AACファイルを正しく書き込んでください。
	ファイルがMP3/WMA/AACファイルではない	正しくエンコードされたMP3/WMA/AACファイルを使用してください。

故障と思われる前に

■CD/MP3/WMA/AAC

現 象	原 因	処 置
音がでない	ファイルシステムが正しくない	ISO9660レベル1、2、Joliet、Romeo、APPLE ISOでファイルを作成してください。
音飛びする ノイズなどが入る	ディスクが汚れている	ディスクを柔らかい布でふいてください。
	MP3/WMA/AACファイルが正しくエンコードされていない	正しくエンコードされたMP3/WMA/AACファイルを使用してください。
	ディスクに大きい傷やソリがある	ディスクを無傷なものに交換してください。
電源を入れた直後 音質が悪い	湿気の多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴が付くことがあります。	電源を入れた状態にして1時間乾燥させてください。
ファイル名が違う	ファイルシステムが正しくない	ISO9660レベル1、2、Joliet、Romeo、APPLE ISOでファイルを作成してください。

■ USB

現 象	原 因	処 置
音がでない	USBデバイスにMP3/WMA/AACファイルがない	USBデバイスにMP3/WMA/AACファイルを正しく書き込んでください。
	ファイルがMP3/WMA/AACファイルではない	正しくエンコードされたMP3/WMA/AACファイルをご使用ください。
	ファイルがDRM(著作権保護)されている	DRM(著作権保護)の解除方法(32ページ)を参照して、解除してください。
	コネクタの接続が悪い	USBを抜き差しして、接続を確実にしてください。
音飛びする ノイズなどが入る	MP3/WMA/AACファイルが正しくエンコードされていない	正しくエンコードされたMP3/WMA/AACファイルをご使用ください。
USBデバイスが認識されない	USBデバイスが破損している	USBデバイスを抜き差ししてください。それでも認識しない場合には、新しいUSBデバイスと交換してください。
	コネクタの接続が悪い	
USBデバイスが挿入できない	USBデバイスの挿入方向が間違っている	USBデバイスの向きを変えて挿入してください。
	USBデバイスのコネクタが破損している	新しいUSBデバイスと交換してください。

■その他

現 象	原 因	処 置
ディスプレイに「エラー表示」が出る	自己診断機能がはたらき、障害が発生したことを知らせている	次ページの「エラー表示について」を参照して、内容を確認してください。

エラー表示について

本機は、システム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。

障害が発生したときは、各種のエラーが表示されますので、次の対処方法にしたがって障害を取り除いてください。障害を取り除けば通常の動作に戻ります。

リセットボタンを押しても復帰しない場合は、本体の電源を切り、お買い求めの販売店にご相談ください。

■ CD/MP3/WMA/AAC

エラー表示	原 因	対処方法
ERROR2	本機にディスクが引っかかって、イジェクトされないとき	本機のCDメカニズムの故障と思われます。お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
ERROR3	ディスクに傷等があり、演奏できないとき	傷やソリのないディスクと交換してください。
ERROR6	ディスクを裏返しに入れ、演奏できないとき	ディスクをイジェクトし、正しく入れ直してください。
	ブランクディスク(無録音)を入れたとき	録音されているディスクと交換してください。

■ USB

エラー表示	原 因	対処方法
ERROR 1	本機のメカが故障しているとき	本機のメカニズムの故障と思われます。お買い求めの販売店にご相談ください。
NO FILE	USBデバイスにオーディオファイルがないとき	オーディオファイルが保存されたUSBデバイスと交換してください。
DSP ERROR	USBコネクタがショート/USBデバイスがオーバーロードのとき	USBデバイスを取り外した後、[SRC]ボタンを押し続けて電源をOFFする。 もう一度[SRC]ボタンを押して電源をONし

■ iPod

エラー表示	原 因	対処方法
ERROR1	iPodとiPod BB間の通信エラーのとき	iPodを取り外し、もう一度接続してください。
NO IPOD	iPodが接続されていないとき	iPodを接続してください。

■ CDチェンジャー

エラー表示	原 因	対処方法
ERROR2	CDチェンジャー内のディスクがローディングできないとき	チェンジャーのメカニズムの故障と思われます。お買い求めの販売店にご相談ください。
ERROR3	ディスクに傷等があり、演奏できないとき	傷やソリのないディスクと交換してください。
ERROR6	マガジン内のディスクを裏返しに入れ、演奏できないとき	ディスクをイジェクトし、正しく入れ直してください。
	無録音のディスクを入れたとき	録音されているディスクと交換してください。

■CDプレーヤー部

周波数特性 : 5Hz~20kHz±1dB
SN比 : 100dB
ダイナミックレンジ : 95dB
高調波ひずみ率: 0.01%

■FMチューナー部

受信周波数 : 76.0MHz~90.0MHz
実用感度 : 9dBf
50dBクワイテイング感度 : 15dBf
SN比 : 70dB
周波数特性 : 30Hz~15kHz±3dB
分離度 : 35dB(1kHz)
高調波ひずみ率: 0.3%(1kHz)

■AMチューナー部

受信周波数 : 522kHz~1,629kHz
実用感度 : 28dB μ V
SN比 : 50dB

■MP3/WMA/AAC部

セクタ構造 :
CD-ROMモード1、モード2-フォーム1
(自動判別)
論理フォーマット :
ISO9660レベル1,2/Joliet/Romeo/
APPLE ISO
フォルダ構造: 8階層
フォルダ数: 最大255
ファイル数: 最大510
(但し1フォルダあたり255まで)
ファイル名: 64byte
(1byte文字で64文字)
フォルダ名: 最大64byte
(1byte文字で64文字)

(MP3)

MP3デコード :
MPEG-1、オーディオレイヤー3準拠

サンプリングレート (kHz) :
MPEG-1 : 32、44.1、48
MPEG-2 : 16、22.05、24
MPEG-2.5: 8、11.025、12

ビットレート (kbps/VBR) :
MPEG-1 : 32~320
MPEG-2 : 8~160
MPEG-2.5 : 8~160

(WMA)

ビットレート(kbps/VBR) :
32kbps~192kbps

AACデコード :

ビットレート(kbps/VBR) : 8~320
サンプリングレート(kHz) : 8~48,

■USB部

最大転送レート12MbpsでUSB1.1/2.0互換
フォルダ構造: 8階層
フォルダ数: 最大255フォルダ
ファイル数: 最大255ファイル/1フォルダ
ファイル名/フォルダ名
: 最大64byte(1byte文字で64文字)

(MP3)

MP3デコード : MPEG-1、2、2.5 オーディオ
レイヤー3準拠

サンプリングレート (kHz)
MPEG-1 : 32、44.1、48
MPEG-2 : 16、22.05、24
MPEG-2.5 : 8、11.025、12

ビットレート (kbps/VBR)
MPEG-1 : 32~320
MPEG-2 : 8~160
MPEG-2.5 : 8~160

(WMA)

ビットレート(kbps/VBR) : 32~192

(AAC)

サンプリングレート(kHz) : 8~48
ビットレート(kbps/VBR) : 8~320

■AUX部

入力感度
LOW : 2.06V(2V出力時)
MID : 1.3V(2V出力時)
HIGH : 650mV(2V出力時)

■オーディオ部

定格出力
: 22W×4(20Hz~20kHz、1%、4 Ω)

最大出力
: 53W×4

適合インピーダンス
: 4 Ω (4 Ω ~8 Ω)

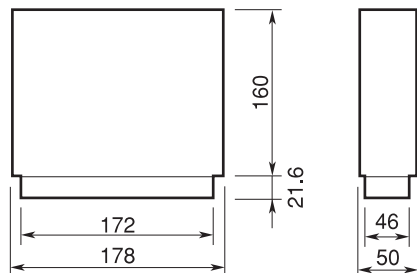
2バンドEQ
BASS(50/80/120Hz) : ±14dB
TREBLE(8k/12kHz) : ±12dB
マグナベースEX
: +10dB(50Hz)(音量ステップ 14)

ラインアウト出力レベル
: 1.8V(CD1kHz)

■共通部

電源電圧 : DC14.4V
 接地方式 : マイナス接地
 消費電流 : 3.0A(1W時)
 ヒューズ定格 : 15A/3A
 外形寸法 :
 178(W)×50(H)×181.6(D)mm
 [取付寸法:160(D)mm]
 質量 : 1.5kg

●本体部



■付属品

- 取扱説明書 1部
- 取付説明書 1部
- 修理相談窓口リスト 1部
- 保証書 1部
- 電源コード 1本
- セムス六角ボルト 5本
- サラネジ(M5×8) 4本

* これらの仕様およびデザインは、改善のため、予告なく変更する場合があります。

アフターサービスについて

■保証書

この商品には、保証書が添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

■保証期間

お買い求めの日より1年間です。

■万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。

お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

■保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)は、製造打ち切り後6年保有しています。

クラリオン株式会社

本社 〒112-0001 東京都文京区白山5-35-2
Clarion ホームページ <http://www.clarion.com>

お問い合わせはお客様相談室へ

フリーダイヤル：0120-112-140

(9:00~12:00・13:00~17:30/土・日・祝祭日を除く)

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	
	TEL.
製造番号	

*お客様へ … ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、
あとでお問い合わせされるときに便利です。